

関東信越厚生局長 殿

管理者名 防衛医科大学校病院

防衛医科大学校病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に
関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 69人 |
|--------|-----|

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職 種 | 常勤 | 非常勤 | 合 計 | 職 種 | 員 数 | 職 種 | 員 数 |
|---------|------|-----|--------|-----------|-----|-------------|-----|
| 医 師 | 205人 | 49人 | 208.0人 | 看護業務補助 | 31人 | 診療エックス線技師 | 人 |
| 歯 科 医 師 | 10人 | 3人 | 11.0人 | 理学療法士 | 3人 | 臨床検査技師 | 35人 |
| 薬 剤 師 | 22人 | 0人 | 22.0人 | 作業療法士 | 2人 | 臨床検査衛生検査技師 | 人 |
| 保 健 師 | 人 | 人 | 人 | 視能訓練士 | 3人 | 査 査 其 他 | 人 |
| 助 産 師 | 10人 | 0人 | 10.0人 | 義肢装具士 | 人 | あん摩マッサージ指圧師 | 人 |
| 看 護 師 | 404人 | 8人 | 410.8人 | 臨床工学技士 | 6人 | 医療社会事業従事者 | 3人 |
| 准 看 護 師 | 0人 | 1人 | 0.1人 | 栄 養 士 | 人 | その他の技術員 | 3人 |
| 歯科衛生士 | 1人 | 0人 | 1.0人 | 歯 科 技 工 士 | 2人 | 事 務 職 員 | 72人 |
| 管理栄養士 | 5人 | 0人 | 5.0人 | 診療放射線技師 | 23人 | そ の 他 の 職 員 | 36人 |

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|----------|-------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 435.6人 | 7.1人 | 442.7人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,177.8人 | 41.3人 | 1,219.1人 |
| 1日当たり平均調剤数 | | | 561剤 |

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別のし入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延べ数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類 | 取扱患者数 |
|---------|-------|
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類 | 取扱患者数 |
|---|-------|
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。) | 0人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来 of 外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。) | 9人 |
| 骨腫瘍のCT透視下ガイド経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。) | 0人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

| | | | |
|-----------|--|-------|---|
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱患者数 | 疾患名 | 取扱患者数 |
|--|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病 | 31人 | ・膿疱性乾癬 | 2人 |
| ・多発性硬化症 | 22人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 1人 |
| ・重症筋無力症 | 38人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 12人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 80人 | ・重症急性膵炎 | 8人 |
| ・スモン | 1人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 15人 |
| ・再生不良性貧血 | 19人 | ・混合性結合組織病 | 9人 |
| ・サルコイドーシス | 29人 | ・原発性免疫不全症候群 | 9人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 17人 | ・特発性間質性肺炎 | 5人 |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 59人 | ・網膜色素変性症 | 7人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 38人 | ・プリオン病 | 1人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 24人 | ・肺動脈性肺高血圧症 | 3人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 93人 | ・神経線維腫症 | 5人 |
| ・大動脈炎症候群 | 5人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 人 |
| ・ビュルガー病 | 5人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 1人 |
| ・天疱瘡 | 9人 | ・慢性血栓栓性肺高血圧症 | 3人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 19人 | ・ライソゾーム病 | 人 |
| ・クローン病 | 44人 | ・副腎白質ジストロフィー | 人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 1人 | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | 人 |
| ・悪性関節リウマチ | 8人 | ・脊髄性筋萎縮症 | 人 |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 86人 | ・球脊髄性筋萎縮症 | 5人 |
| ・アミロイドーシス | 3人 | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎 | 9人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 25人 | ・肥大型心筋症 | 2人 |
| ・ハンチントン病 | 人 | ・拘束型心筋症 | 人 |
| ・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症) | 13人 | ・ミトコンドリア病 | 2人 |
| ・ウェゲナー肉芽腫症 | 2人 | ・リンパ脈管筋腫症(LAM) | 1人 |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 18人 | ・重症多形滲出性紅斑(急性期) | 人 |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群) | 4人 | ・黄色靭帯骨化症 | 人 |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 人 | ・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、 先端巨大症、下垂体機能低下症) | 27人 |

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類 | 施設基準等の種類 |
|-----------------------|----------|
| ・乳がんセンチネルリンパ節加算1(併用法) | ・ |
| ・乳がんセンチネルリンパ節加算2(単独法) | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

| | |
|-------------------------------------|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 1週間に4回程度 |
| 部 検 の 状 況 | 部検症例数 39 例 / 部検率 11.1% |

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 | |
|--|--------|----------|--------|----------|-------|
| マブリア原虫赤内型感染制御機構の解析 | 宮平 靖 | 国際感染症学 | 9,800 | 補委 | 特別研究費 |
| 肝臓の細胞性免疫及び液性免疫による生体防御の分子免疫機構の研究 | 関 修司 | 免疫・微生物学 | 6,500 | 補委 | 特別研究費 |
| 頭頸部難治性疾患に対する新しい治療法の開発 | 塩谷 彰浩 | 耳鼻いんこう科学 | 6,983 | 補委 | 特別研究費 |
| In silico デザインに基づく癌の新規分子標的治療法の開発 | 四ノ宮 成祥 | 分子生体制御学 | 14,000 | 補委 | 特別研究費 |
| 重症熱傷患者の救命治療を目的とした基礎研究 | 齋藤 大蔵 | 外傷研究部門 | 9,700 | 補委 | 特別研究費 |
| ノックアウトマウスを用いたシグナル伝達病に関する研究 | 伊藤 正孝 | 再生発生学 | 8,000 | 補委 | 特別研究費 |
| 大規模健康診断の分子疫学を活用した腎・代謝異常の病態究明と治療法の開発 | 桜井 裕 | 衛生学公衆衛生学 | 15,000 | 補委 | 特別研究費 |
| 中枢および末梢神経でみられる細胞増殖因子の機能解析と臨床応用 | 濱田 剛 | 解剖学 | 19,943 | 補委 | 特別研究費 |
| 代謝・炎症・酸化ストレスを基盤とした、血管病の分子機構及び病態マーカーの検索 | 足立 健 | 内科学 | 17,000 | 補委 | 特別研究費 |

計 9

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--------|----|-------|------|
| 別添のとおり | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

計421

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--|------|
| 平成22年度 衝撃波シンポジウム講演論文集 3(1):P329-332, 2011. 03 | 衝撃波の生体に及ぼす影響：胸部爆風傷における肺胞壁破壊のメカニズム | 徳野慎一, 佐藤俊一, 佐藤泰司, 齋藤大蔵, 中山昌喜, 妻島元太郎, 中山良男, 大野友則, 水書稔治 | 内科1 |
| Journal of Cardiology Cases 3(1):Pe53-e56, 2011. 02 | A case of idiopathic dilation of the pulmonary artery with mild subvalvular pulmonary stenosis revealed by cardiovascular magnetic resonance | Niida Tomiharu, Kitai Takayuki, Isoda Kikuo, Adachi Takeshi, Ohsuzu Fumitaka | 内科1 |
| Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 18(2):P108-114, 2011. 02 | Serum Resistin Levels and Cardiovascular Events in Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention. | Ohsuzu Fumitaka | 内科1 |
| J Lipid Res 52(1):P136-142, 2011. 01 | The effect of rosiglitazone on HDL metabolism in subjects with metabolic syndrome and low HDL. | Millar JS, Ikewaki Katsunori, Bloedon LT, Wolfe ML, Szapary PO, Rader DJ | 内科1 |
| Atherosclerosis 213(1):P135-141, 2010. 11 | Cilostazol enhances macrophage reverse cholesterol transport in vitro and in vivo. | Nakaya Kazuhiro, Ayaori Makoto, Kondo Harumi, Hisada Tetsuya, Ogura Masatsune, Yakushiiji Emi, Takiguchi Shunichi, Terao Yoshio, Ozasa Hideki, Sasaki Makoto, Komatsu Tomohiro, Ohsuzu Fumitaka, Ikewaki Katsunori | 内科1 |
| Journal of Korean Medical Science 25(9):P1364-1367, 2010. 09 | A case of multicentric Castleman's disease having lung lesion successfully treated with humanized anti-interleukin-6 receptor antibody, tocilizumab. | Higuchi Tomoaki, Nakanishi Takashi, Takada Kunio, Matsumoto Mitsuyo, Okada Makoto, Horikoshi Hideyuki, Suzuki Kimihiro | 内科1 |
| Heart Vessels 25(5):P417-425, 2010. 09 | Severe, short-term food restriction improves cardiac function following ischemia/reperfusion in perfused rat hearts | Yamagishi Tadashi, Bessho Motoaki, Yanagida Shigeaki, Nishizawa Kenya, Kusuvara Masatoshi, Ohsuzu Fumitaka, Tamai Seiichi | 内科1 |
| J Clin Invest 120:P2292-2306, 2010. 07 | Periostin advances atherosclerotic and rheumatic cardiac valve degeneration by inducing angiogenesis and MMP production in humans and rodents. | Hakuno Daihiko, Kimura N, Yoshioka M, Murai M, Kimura T, Okada Y, Yozu R, Shukunami C, Hiraki Y, Kudo A, Ogawa S, Fukuda K | 内科1 |
| Atherosclerosis 210(2):P668-670, 2010. 06 | Associations between plasma osteopontin levels and the severities of coronary and aortic atherosclerosis. | Momiyama Yukihiko, Ohmori Reiko, Fayad ZA, Kihara Teruyoshi, Tanaka Nobukiyo, Kato Ryuichi, Taniguchi Hiroaki, Nagata Masayoshi, Nakamura Haruo, Ohsuzu Fumitaka | 内科1 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|--|------|
| J Hypertens. 28(6):P1150-1157, 2010. 06 | Sex differences in effects of valsartan administration on cardiovascular outcomes in hypertensive patients: findings from the Jikei Heart Study. | Yoshida Hiroshi, Shimizu M, Ikewaki Katsunori, Taniguchi I, Tada N, Yoshimura M, Rosano G, Dahlof B, Mochizuki S | 内科1 |
| Aviat Space Environ Med 81(6):P593-596, 2010. 06 | Ventricular fibrillation diagnosed during electrophysiological study for non-sustained tachycardia. | Hisada Tetsuya, Miyagawa Takashi, Yakushiji Tadayuki, Tsujimoto Tetsuya, Sakai M, Adachi Takeshi, Ikewaki Katsunori, Ogata K, Ohsuzu Fumitaka, Sakurai Yutaka | 内科1 |
| Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 17(5):P460-467, 2010. 05 | Associations Between Plasma C-reactive Protein Levels and the Severities of Coronary and Aortic Atherosclerosis. | Momiyama Yukihiko, Ohmori Reiko, Zahi A. Fayad, Kihara Teruyoshi, Tanaka Nobukiyo, Kato Ryuichi, Taniguchi Hiroaki, Nagata Masayoshi, Nakamura Haruo, Ohsuzu Fumitaka | 内科1 |
| J Stroke Cerebrovasc Dis 19(3):P190-197, 2010. 05 | Risk factor profiles of stroke, myocardial infarction, and atrial fibrillation: a Japanese Multicenter Cooperative Registry. | Uchiyama S, Shibata Y, Hirabayashi T, Mihara B, Hamashige N, Kitagawa K, Goto S, Origasa H, Shimada K, Kobayashi H, Isozaki M, Ikeda Y, J-TRACE Investigators, Ohsuzu Fumitaka | 内科1 |
| Progress in Medicine 30(5):P1479-1486, 2010. 05 | ベザフィブラートおよびフェノフィブラートが著効したが肝逸脱酵素の上昇を認めた高レムナント血症の1例 | 綾織誠人, 小倉正恒, 中家 和宏, 薬師寺恵美, 滝口俊一, 近藤春美, 久田哲也, 寺尾吉生, 小笹秀樹, 池脇克則 | 内科1 |
| Adv Exp Med Biol 662:P101-107, 2010, 04 | Assessing a shift of glucose biotransformation by LC-MS/MS-based metabolome analysis in carbon monoxide-exposed cells. | Takano N, Yamamoto T, Adachi Takeshi, Suematsu M | 内科1 |
| Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology 30(4):P708-715, 2010. 04 | Deficiency of Interleukin-1 Receptor Antagonist Induces Aortic Valve Disease in BALB/c Mice | Isoda Kikuo, Matsuki Taizo, Kondo Harumi, Iwakura Yoichiro, Ohsuzu Fumitaka | 内科1 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--|------|
| Nephrol Dial Transplant 2011, 03 | Effects of liposome-encapsulated clodronate on chlorhexidine gluconate-induced peritoneal fibrosis in rats. | Kushiyama Taketoshi, Oda Takashi, Yamada Muneharu, Higashi Keishi, Yamamoto Kojiro, Oshima Naoki, Sakurai Yutaka, Miura Soichiro | 内科2 |
| Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 300(3):PG401-G408, 2011. 03 | Increased expression of lipocalin-type-prostaglandin D synthase in ulcerative colitis and exacerbating role in murine colitis. | Hokari Ryota, Kurihara Chie, Nagata Nanae, Aritake Kosuke, Okada Yoshikiyo, Watanabe Chikako, Komoto Shunsuke, Nakamura Mitsuyasu, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Urade Yoshihiro, Miura Soichiro | 内科2 |
| Modern Physician 31:P289-291, 2011. 03 | ローマ基準の意義とその概要 | 安武優一, 三浦総一郎 | 内科2 |
| 日本高齢消化器病学会誌 13:P7-12, 2011. 03 | 下部消化管疾患の治療ガイドラインと高齢者への適応 | 三浦総一郎, 高本俊介, 渡辺知佳子, 穂苅量太, 川口淳 | 内科2 |
| 消化と吸収 33:P246-250, 2011. 03 | 小腸のプログルカゴン由来ホルモン分泌における各種脂肪酸摂取の影響 | 佐藤伸悟, 穂苅量太, 三浦総一郎 | 内科2 |
| 日本内科学会雑誌 100:P126-132, 2011. 01 | III 最近の話題 消化管の恒常性維持と病態解明、1. 消化・吸収機能からのアプローチ、特集:小腸疾患:診断と治療の進歩 | 穂苅量太, 三浦総一郎 | 内科2 |
| Nephrology (Carlton) 2010. 12 | Alteration in the Phenotype Macrophages in the Repair of Renal Interstitial Fibrosis in Mice. | Kushiyama Taketoshi, Oda Takashi, Yamada Muneharu, Higashi Keishi, Yamamoto Kojiro, Sakurai Yutaka, Miura Soichiro, Kumagai Hiroo | 内科2 |
| American journal of physiology. Renal physiology 299(6):P1258-1269, 2010. 12 | Voltage-gated Potassium Channel Kv1.3 Blocker as a Potential Treatment for Rat Anti-Glomerular Basement Membrane Glomerulonephritis. | Toshitake Hyodo, Takashi Oda, Yuichi Kikuchi, Keishi Higashi, Taketoshi Kushiyama, Kojiro Yamamoto, Muneharu Yamada, Shigenobu Suzuki, Ryota Hokari, Manabu Kinoshita, ShujiSeki, Hidehiko Fujinaka, Tadashi Yamamoto, Soichiro Miura, Hiroo Kumagai | 内科2 |
| 成人病と生活習慣病 40:P1362-1368, 2010. 12 | リンパ球ホーミングや接着分子からみた炎症性腸疾患の病因・病態生理 | 穂苅量太, 三浦総一郎 | 内科2 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|------|
| Progress of Digestive Endoscopy 77:P106-107, 2010. 12 | 内視鏡で小腸病変を観察し得たSchonlein-Henoch紫斑病の3例 | 井上倂仁, 成松和幸, 佐藤伸悟, 早坂健司, 佐藤宏和, 安武優一, 八月朔日秀明, 上田俊秀, 東山正明, 中村光康, 渡辺知佳子, 若林寛二, 穂苺量太, 川口淳, 永尾重昭, 三浦総一郎 | 内科2 |
| Progeress of Digestive Endoscopy 78(1):P97-98, 2010. 12 | 内視鏡的に瘻孔を閉鎖し得た胆管十二指腸瘻の一例 | 堀内和樹, 成松和幸, 清水基規, 安武優一, 佐藤伸悟, 八月朔日秀明, 上田俊秀, 東山正明, 渡辺知佳子, 高本俊介, 富田謙吾, 中村光康, 穂苺量太, 川口淳, 永尾重昭, 三浦総一郎 | 内科2 |
| Eurosurveillance 15:P1-8, 2010. 11 | Characteristics of paediatric patients with 2009 pandemic influenza A(H1N1) and severe, oxygen-requiring pneumonia in the Tokyo region, 1 September-31 October 2009 | M Nishiyama, Y Yoshida, M Sato, M Nishioka, T Kato, T Kanai, T Ishiwata, H Wakamatsu, S Nakagawa, Akihiko Kawana, S Nonoyama | 内科2 |
| Hepatogastroenterology 57(104):P1602-1607, 2010. 11 | Prediction of fasting gastric pH using serum biological markers. | Kishikawa Hiroshi, Nishida Jiro, Ichikawa Hitoshi, Kaida Shogo, Matsukubo Takashi, Miura Soichiro, Morishita Tetsuo, Hibi Toshifumi | 内科2 |
| からだの科学 267(AUTUMN):P7-10, 2010. 11 | 大腸のA to Z—大腸の構造とはたらき— | 高本俊介, 三浦総一郎 | 内科2 |
| Clin Exp Immunol. 162(1):P156-162, 2010. 10 | Interferon-alpha increases monocyte migration via platelet-monocyte interaction in murine intestinal microvessels. | Higashiyama Masaaki, Hokari Ryota, Kurihara Chie, Ueda Toshihide, Nakamura Mitsuyasu, Komoto Shunsuke, Okada Yoshikiyo, Watanabe Chikako, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Miura Soichiro | 内科2 |
| J Infect Chemother 16:P345-349, 2010. 09 | Epidural abscess caused by community-associated methicillin-resistant Staphylococcus aureus strain US300 in Japan | Masaaki Higashiyama, Teruyo Ito, Xiao Han, Kenichiro Ono, Kenzo Minamimura, Fumihiro Sakakibara, Akemi Tanno, Junichiro Nishiyama, Junichi Hatada, Keiichi Hiramatsu, Akihiko Kawana | 内科2 |
| Hum Pathol. 41(9):P1276-1285, 2010. 09 | Localization of nephritis-associated plasmin receptor in acute poststreptococcal glomerulonephritis | Takashi Oda, Nobuyuki Yoshizawa, Kazuo Yamakami, Kikuko Tamura, Aki Kuroki, Tetsuzo Sugisaki, Emi Sawanobori, Kohsuke Higashida, Yoshiyuki Ohtomo, Osamu Hotta, Hiroo Kumagai, Soichiro Miura | 内科2 |
| 公衆衛生 74(8):P636-646, 2010. 09 | 検証「パンデミックインフルエンザ2009」パンデミック(H1N1)2009-わが国の対策の総括と今後の課題 | 尾身茂, 岡部信彦, 川名明彦, 河岡義裕, 田代真人 | 内科2 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|---|------|
| Neuroinfection 神経感染症 15(1):P124-127, 2010. 09 | 高度の難聴を呈した髄膜炎菌性髄膜炎の成人女性例 | 汐崎祐, 富樫尚彦, 本郷悠, 荒木学, 海田賢一, 川名明彦, 木村文彦, 鎌倉恵子 | 内科2 |
| J Pharmacol Exp Ther. :P607-613, 2010. 08 | Endogenous luminal surface adenosine signaling regulates duodenal bicarbonate secretion in rats. | Ham M, Mizumori M, Watanabe Chikako, Wang J, Inoue T, Nakano T, Guth PH, Engel E, Kaunitz JD, Akiba Y | 内科2 |
| Medical Practice 27(8):P1331-1334, 2010. 08 | 大腸憩室症(憩室出血、憩室炎)の診療 | 安武優一, 三浦総一郎 | 内科2 |
| 成人病と生活習慣病 40(8):P901-905, 2010. 08 | 異物、薬剤や放射線、化学物質などによる食道炎 | 永尾重昭, 佐藤宏和, 成松和幸, 早坂健司, 川口淳, 三浦総一郎 | 内科2 |
| 日本医師会雑誌 139(7):P1477-1480, 2010. 07 | 2009年新型インフルエンザパンデミックにおける重症化例の実態特に肺炎について | 川名明彦 | 内科2 |
| Microcirculation 17(5):P321-332, 2010. 07 | Lemon grass (Cymbopogon citratus) ameliorates murine spontaneous ileitis by decreasing lymphocyte recruitment to the inflamed intestine. | Watanabe Chikako, Hokari Ryota, Komoto Shunsuke, Kurihara Chie, Okada Yoshikiyo, Mtsunaga Hisayuki, Takebayashi Koichi, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Tsuzuki Yoshikazu, Yokoyama Hirokazu, Miura Soichiro | 内科2 |
| 日本医事新報 4498:P65-68, 2010. 07 | 十二指腸カルチノイド(カラーグラフ) | 永尾重昭, 佐藤宏和, 成松和幸, 早坂健司 | 内科2 |
| 日本内科学会雑誌 99(7):P48-56, 2010. 07 | 呼吸器領域の新しい薬物療法:作用機序と使用の実際 抗ウイルス薬-抗HIV薬 | 藤倉雄二, 川名明彦 | 内科2 |
| FUNCTIONAL FOOD 4(1):P4-8, 2010. 05 | 機能性脂肪に関する最近の知見、特集:免疫と機能性食品 | 上田俊秀, 穂苅量太, 三浦総一郎 | 内科2 |
| 日本呼吸器学会雑誌 48(5):P391-396, 2010. 04 | ゲフィチニブ耐性癌性髄膜炎に対してエルロチニブが奏効した非小細胞肺癌の1例 | 藤倉雄二, 森島祐子, 太田恭子, 大塚茂男, 本間晋介, 栗島浩一, 檜澤伸之 | 内科2 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---|------|
| Neohrology (Carlton) 15(3):P327-335, 2010. 04 | Additive antifibrotic effects of pioglitazone and candesartan on experimental renal fibrosis in mice. | Keishi Higashi, Takashi Oda, Taketoshi Kushiyama, Toshitake Hyodo, Muneharu Yamada, Shigenobu Suzuki, Yutaka Sakurai, Soichiro Miura, Hiroo Kumagai | 内科2 |
| Influenza and Other Respiratory Viruses 4:P179-186, 2010. 04 | An epidemiological analysis of severe cases of the influenza A(H1N1)2009 virus infection in Japan | Koji Wada, Akihiko Kawana, Hiroshi Nishimura | 内科2 |
| Int J Oncol. 36(4):P941-953, 2010. 04 | Bile acid regulates MUC2 transcription in colon cancer cells via positive EGFR/PKC/Ras/ERK/CREB, PI3K/Akt/IkappaB/NF-kappaB and p38/MSK1/CREB pathways and negative JNK/c-Jun/AP-1 pathway. | Lee HY, Crawley S, 穂苺 豊太, Kwon S, Kim YS | 内科2 |
| RADIOISOTOPES 59:P173-177, 2010. 04 | IgG4-associated multifocal systemic fibrosis detected by cancer screening with #U18#URF-FDG positron emission tomography/computed tomography. | Shigeyoshi Soga, Tamotsu Kita, Miyuki Hiratsuka, Chiharu Sakaguchi, Hiroshi Shinmoto, Shigeru Kosuda, Ikuko Sakata, Soichiro Miura | 内科2 |
| Int J Oncol. 36(4):P765-775, 2010. 04 | MUC2 gene promoter methylation in mucinous and non-mucinous colorectal cancer tissues. | Okudaira Keisuke, Kakar S., Cun L., Choi E., Wu Decamillis R., Miura Soichiro, Sleisenger MH, Kim YS., Deng G. | 内科2 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|------|
| Annals of hematology 90(3):P367-368, 2011. 03 | Imatinib-resistant lymphoid clone of chronic myelogenous leukemia in blast phase arising from B cell-committed progenitor leukemic stem cells. | Shinichi Kobayashi, Ken Sato, Ayako Kobayahsi, Yukitsugu Nakamura, Fumihiko Kimura | 内科3 |
| 東京都医師会雑誌 64(3):P51-54, 2011. 03 | 頭痛・外眼筋麻痺のみを呈した特発性頸動脈海綿静脈洞瘻の4例 | 富樫尚彦, 海田賢一, 竹島慎一, 小川剛, 木村文彦, 鎌倉恵子 | 内科3 |
| Cell Death & Differentiation 17(12):P1917-1927, 2010. 12 | IL-34 and M-CSF share the receptor Fms but are not identical in biological activity and signal activation. | Takashi Chihara, Shinya Suzu, Ranya Hassan, Nopporn Chutiwitoochai, Masateru Hiyoshi, Kazuo Motoyoshi, Fumihiko Kimura, Seiji Okada | 内科3 |
| International Journal of Urology 17(12):P1004-1007, 2010. 09 | Severe polyuria after the resection of adrenal pheochromocytoma | Tobe Musashi, Ito Keiichi, Umeda Shun, Sato Akinori, Noriaki Adaniya, Tanaka Yuji, Hayakawa Masamichi, Asano Tomohiko | 内科3 |
| 日本泌尿器科学会雑誌 101(6):P734-737, 2010. 09 | 女性尿道原発無色素性悪性黒色腫の一例 | 吉井貴彦, 堀口明男, 城武卓, 戸邊武蔵, 田崎新資, 早川正道, 住友誠, 浅野友彦 | 内科3 |
| Neuroinfection 神経感染症 15(1):P124-127, 2010. 09 | 高度の難聴を呈した髄膜炎菌性髄膜炎の成人女性例 | 汐崎祐, 富樫尚彦, 本郷悠, 荒木学, 海田賢一, 川名明彦, 木村文彦, 鎌倉恵子 | 内科3 |
| 泌尿器科紀要 56(7):P393-396, 2010. 07 | 精嚢部に腫瘍を形成した悪性リンパ腫の1例 | 濱田真輔, 伊藤敬一, 神原太樹, 吉井貴彦, 佐藤謙, 住友誠, 木村文彦, 浅野友彦 | 内科3 |
| J Neuroimmunol. 223(12):P5-12, 2010. 06 | Antibodies to gangliosides and ganglioside complexes in Guillain-Barré syndrome and Fisher syndrome. Mini review. | Kenichi Kaida, Susumu Kusunoki | 内科3 |
| 末梢神経 (Peripheral nerve) 21(1):P58-66, 2010. 06 | Pure motor Guillain-Barré症候群の新規標的抗原:GM1/GalNAc-GD1a複合体—電気生理所見を中心として— | 小川剛, 海田賢一, 園生雅弘, 上田昌美, 鎌倉恵子, 楠進 | 内科3 |
| 結核 85(5):P447-452, 2010. 05 | 一次感染型Mycobacterium avium-intracellulare complex症の経年的変化 | 恐田尚幸, 小林英夫 | 内科3 |
| 神経内科 72(5):P519-523, 2010. 05 | 抗ガラクトセレブロシド抗体陽性のマイコプラズマ感染後Guillain-Barré症候群の1例 | 角谷真人, 小川剛, 海田賢一, 木村文彦, 鎌倉恵子 | 内科3 |
| Lasers in Surgery and Medicine 42(4):P313-318, 2010. 04 | Pulmonary blast injury in mice: a novel model for studying blast injury in the laboratory using laser-induced stress waves | Yasushi Satoh, Daizoh Saitoh, Shinichi Tokuno, Ben Hatano, Tadasuke Shimokawaji, Kobayashi Hideo, Kunio Takishima | 内科3 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|-------|
| H22年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業(H21-エイズ一般-002) 総括研究分担報告書 :P22-68, 2011. 03 | HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究 | 喜多恒和, 大井理恵, 太田寛, 小林裕幸, 佐久本薫, 瀬戸裕, 高野政志, 中西美紗緒, 松田秀雄, 箕浦茂樹, 坂口順子, 金子ゆかり | 総合臨床部 |
| 厚生労働省科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究平成18年度総括・分担研究報告書 2011; :P46-79, 2011. 03 | 周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究:HIV感染妊婦の実態調査とその解析およびHIV感染妊婦とその出生児に関するデータベースの構築 | 喜多恒和, 井上孝実, 岩田みさ子, 北村勝彦, 工藤一弥, 小早川あかり, 小林裕幸, 佐久本薫, 高野政志, 中西美紗緒, 早川智, 松田秀雄, 箕浦茂樹, 吉野直人 | 総合臨床部 |
| Breast Cancer Research and Treatment 123:P733-745, 2010. 10 | Expression pattern of stromal cell-derived factor-1 chemokine in invasive breast cancer is correlated with estrogen receptor status and patient prognosis | Kobayashi Takayuki, Tsuda Hitoshi, Moriya Tomoyuki, Yamasaki Tamio, Kikuchi Ryoko, Ueda Shigeto, Omata Jiro, Yamamoto Junji, Matsubara Osamu | 総合臨床部 |
| 福岡医学雑誌 101(9):P198-206, 2010. 09 | Modified electroconvulsive therapy for recurrent Major depressive disorder in a meningioma patient; a case of clinical experience | Nakatake Masayuki, Teraishi Toshiya, Ide Makoto, Wakizono Tomoki, Ogawa Tetsuo, Kuwahara Tatsuuro, Yoshino Aihide, Nomura Soichiro | 総合臨床部 |
| HIV母子感染全国調査研究報告書 平成21年度 :P2-51, 2010. 07 | HIV感染妊婦とその出生児に関するデータベースの構築およびHIV感染妊婦の疫学的・臨床的情報解析HIV母子感染全国調査研究報告書 平成21年度p2 | 喜多恒和, 岩田みさ子, 小林裕幸, 佐久本薫, 高野政志, 田口彰則, 中西美紗緒, 松田秀雄, 箕浦茂樹 | 総合臨床部 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|------|
| Journal of Molecular and Cellular Cardiology 50(3):P545-551, 2011. 03 | Caveolin-1 negatively regulates a metalloprotease-dependent epidermal growth factor receptor transactivation by angiotensin II | Takaguri Akira, Shirai Heigoro, Kimura Keita, Hinoki Akinari, Eguchi Kunie, Mary Ellen, Carlile-Klusacek, Baohua Yang, Victor Rizzo, Eguchi Satoru | 外科1 |
| Hypertension 57:P841-845, 2011. 02 | A Disintegrin and Metalloprotease 17 Mediates Neointimal Hyperplasia in Vasculature | Takaguri Akira, Kimura Keita, Hinoki Akinari, Allison M. Bourne, Michael V. Autieri, Eguchi Satoru | 外科1 |
| The American Journal of Surgery 201(2):P203-208, 2011. 02 | Intrahepatic Cholangiocarcinoma: analysis of 44 consecutive resected cases including 5 cases with repeat resections | Saiura Akio, Yamamoto Junji, Kokubo Norihiro, Koga Rintaro, Seki Makoto, Hiki Naoki, Yamada Kazuhiko, Natori Takeshi, Yamaguchi Toshiharu | 外科1 |
| Annals of Surgical oncology :P2289-2296, 2011. 02 | One-Step Nucleic Acid Amplification (OSNA) for the Application Of Sentinel Node Concept in Gastric Cancer | Yaguchi Yoshihisa, Sugasawa Hidekazu, Tsujimoto Hironori, Takata Hideki, Nakabayashi Kazuki, Ichikura Takashi, Ono Satoshi, Hiraki Shuichi, Hiraki shuichi, Mochizuki Hidetaka, Yamamoto Junji, Hase Kazuo | 外科1 |
| World J Surg 35:P365-371, 2011. 02 | Preoperative Toll-Like Receptor Expression in Monocytes is Associated With Host Immunological Responses Following Gastrointestinal Surgery | Satoshi Ono, Hironori Tsujimoto, Shu-ichi Hiraki, Manabu Kinoshita, Kazuo Hase | 外科1 |
| Shock 25(2):P1-7, 2011. 02 | 合成CRPの致死的重症感染症に対する予後改善効果—クッパー細胞の貧食能亢進効果と炎症性サイトカイン抑制効果— | 木下学, 小野聡, 稲津昭仁, 佐藤厚志, 平木修一, 高畑りさ, 辻本広紀, 齋藤大蔵, 関修司 | 外科1 |
| J Surg Res , 2011. 01 | Interleukin -7 Treatment Reverses Parenteral Nutrition-Induced Impairment of Resistance to Bacterial Pneumonia with Increased Secretory Immunoglobulin A Levels | Fukatsu Kazuhiko, Moriya Tomoyuki, Murakoshi S, Yasuhara H | 外科1 |
| 腹部救急医学会雑誌 31(1):P13-17, 2011. 01 | 上部消化管穿孔症例における腹膜CT値測定の意義 | 辻本広紀, 矢口義久, 平木修一, 小野聡, 木下学, 山本順司, 長谷和生 | 外科1 |
| Cancer Science 101(12):P2586-2590, 2010. 12 | Computed tomography lymphography for the detection of sentinel nodes in patients with gastric carcinoma. | Tsujimoto Hironori, Yaguchi Yoshihisa, Sakamoto Naoko, Kumano Isao, Takahata Risa, Matsumoto Yusuke, Yoshida Kazumichi, Sugasawa Hidekazu, Ono Satoshi, Ichikura Takashi, Yamamoto Junji, Hase Kazuo | 外科1 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|---|------|
| J Gastroenterol 45(12):P1212-1218, 2010. 12 | Detection of desmoplastic reaction in biopsy specimens is useful for predicting the depth of invasion of early colorectal cancer: a Japanese collaborative study | Hirose Motohiko, Fukai Hirokazu, Igarashi Yoshinori, Fujimori Yukari, Katake Yoshinori, Sekikawa Akira, Ichikawa Kazuhito, Tomita Shigeki, Imura Johji, Ajioka Yoichi, Ueno Hideki, Hase Kazuo, Ohkuma Yasuo, Kashida Hiroshi, Togashi Kazutomo, Nishigami Takashi, Matsui Toshiyuki, Yao Takashi, Wada Ryo, Matsuda Keiji, Watanabe Toshiaki, Ochiai Atsushi, Sugai Tamotsu, Sugihara Kenichi, Fujimori Takahiro | 外科1 |
| Gastric Cancer 13(4):P212-221, 2010. 12 | Roles of inflammatory cytokines in the progression of gastric cancer: friends or foes? | Tsujimoto Hironori, Ono Satoshi, Ichikura Takashi, Matsumoto Yusuke, Yamamoto Junji, Hase Kazuo | 外科1 |
| Breast Journal 16(6):P660-662, 2010. 11 | Early reduction in standardized uptake value after one cycle of neoadjuvant chemotherapy measured by sequential FDG PET/CT is an independent predictor of pathological response of primary breast cancer | Ueda Shigeto, Tsuda Hitoshi, Saeki Toshiaki, Osaki Akihiko, Shigekawa Takashi, Ishida Jiro, Tamura Katsumi, Abe Yoshiyuki, Omata Jiro, Moriya Tomoyuki, Fukatsu Kazuhiko, Yamamoto Junji | 外科1 |
| World Journal of Surgery 34:P2830-3836, 2010. 11 | Gastric Tube Reconstruction by Laparoscopy-Assisted Surgery Attenuates Postoperative Systemic Inflammatory Response after Esophagectomy for Esophageal Cancer | Tsujimoto Hironori, Ono Satoshi, Sugasawa Hidekazu, Ichikura Takashi, Yamamoto Junji, Hase Kazuo | 外科1 |
| Breast Cancer Research and Treatment 123:P733-745, 2010. 10 | Expression pattern of stromal cell-derived factor-1 chemokine in invasive breast cancer is correlated with estrogen receptor status and patient prognosis | Kobayashi Takayuki, Tsuda Hitoshi, Moriya Tomoyuki, Yamasaki Tamio, Kikuchi Ryoko, Ueda Shigeto, Omata Jiro, Yamamoto Junji, Matsubara Osamu | 外科1 |
| Diseases of the Colon & Rectum 53(10):P1391-1399, 2010. 10 | Risk Factors of Nodal Involvement in T2 Colorectal Cancer | Kajiwara Yoshiki, Ueno Hideki, Hashiguchi Yojiro, Mochizuki Hidetaka, Hase Kazuo | 外科1 |
| 手術 64(10):P1363-1370, 2010. 09 | 高位胸腔内食道胃管吻合 | 愛甲 聡, 熊野 勲, 辻本広紀, 吉住 豊 | 外科1 |
| American Journal of Clinical Pathology 134:P312-322, 2010. 08 | Proposed Objective Criteria for "Grade 3" in Early Invasive Colorectal Cancer | Ueno Hideki, Hashiguchi Yojiro, Kajiwara Yoshiki, Shinto Eiji, Shimazaki Hideyuki, Kurihara Hiroyuki, Mochizuki Hidetaka, Hase Kazuo | 外科1 |
| 侵襲と免疫 19(3):P125-136, 2010. 08 | 食道癌手術後の生体反応と免疫抑制状態のメカニズム | 辻本広紀, 小野聡, 長谷和生 | 外科1 |
| Journal of Hepatology 53:P903-910, 2010. 07 | Characterization of two F4/80-positive Kupffer cell subsets by their function and phenotype in mice | Manabu Kinoshita, Uchida Takefumi, Atsushi Sato, Masahiro Nakashima, Hiroyuki Nakashima, Satoshi Shono, Yoshiko Habu, Hiromi Miyazaki, Sadayuki Hiroi, ShujiSeki | 外科1 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|---|------|
| Journal of Hepatobiliary Pancreatic Sciences 17(2):P174-179, 2010. 07 | Factors influencing infectious complications after pancreatoduodenectomy | Su Zhongxue, Koga intaro, Saiura Akio, Natori Takesh, Yamaguchi Toshiharu, Yamamoto Junji | 外科1 |
| World Journal of Surgery 34:P1840-1846, 2010. 07 | Has the Accuracy of Preoperative Diagnosis Improved in Cases of Early-stage Gastric Cancer? | Tsujimoto Hironori, Sugasawa Hidekazu, Ono Satoshi, Ichikura Takashi, Yamamoto Junji, Hase Kazuo | 外科1 |
| JPEN J Parenter Enteral Nutr 34(4):P438-443, 2010. 07 | Parenteral nutrition rapidly reduces hepatic mononuclear cell numbers and lipopolysaccharide receptor expression on Kupffer cells in mice. | Omata Jiro, Fukatsu Kazuhiko, Murakoshi S, Noguchi M, Moriya Tomoyuki, Okamoto Koichi, Saitoh Daizoh, Yamamoto Junji, Hase Kazuo | 外科1 |
| 日本消化器外科学会雑誌 43(7):P704-709, 2010. 07 | 周術期感染性合併症が消化器癌術後の予後に与える影響 | 辻本広紀, 平木修一, 坂本直子, 矢口義久, 堀尾卓矢, 愛甲聡, 小野聡, 市倉隆, 山本順司, 長谷和生 | 外科1 |
| 日本腹部救急医学会雑誌 30(5):P647-650, 2010. 07 | 胃癌穿孔例の臨床病理学的特徴と予後 | 辻本広紀, 小野聡, 平木修一, 坂本直子, 矢口義久, 山本順司, 長谷和生 | 外科1 |
| Annals of Surgery 25(5):P959-965, 2010. 05 | Arginine-Enriched Total Parenteral Nutrition Improves Survival in Peritonitis by Normalizing NF- κ B Activation in Peritoneal Resident and Exudative Leukocytes | Ueno Chikara, Maeshima Yoshinori, Moriya Tomoyuki, Fukatsu Kazuhiko, Omata Jiro, Saitoh Daizoh, Mochizuki Hidetaka | 外科1 |
| Shock 33(5):P500-506, 2010. 05 | Immunosuppression in the livers of mice with obstructive jaundice participates in their susceptibility to bacterial infection and tumor metastasis | Kawarabayashi Nobuaki, Seki Shuhji, Hatsuse Kazuo, Kinoshita Manabu, Takigawa Toshimichi, Tsujimoto Hironori, Kawabata Toshinobu, Nakashima Hiroyuki, Shono Satoshi, Mochizuki Hidetaka | 外科1 |
| Annals of Surgical Oncology 17:P973-980, 2010. 05 | Is Total Mesorectal Excision Always Necessary for T1-T2 Lower Rectal Cancer? | Kobayashi Hirotooshi, Mochizuki Hidetaka, Kato Tomoyuki, Mori Takeo, Kameoka Shingo, Shirouzu Kazuo, Saito Yukio, Watanabe Masahiko, Morita Takayuki, Hida Jin-ichi, Ueno Masashi, Ono Masato, Yasuno Masamichi, Sugihara Kenichi | 外科1 |
| Annals of Surgery 251(5):P872-881, 2010. 05 | Prognostic Significance of the Number of Lymph Nodes Examined in Colon Cancer Surgery Clinical Application Beyond Simple Measurement | Hashiguchi Yojiro, Hase Kazuo, Ueno Hideki, Mochizuki Hidetaka, Kajiwaraya Yoshiki, Ichikura Takashi, Yamamoto Junji | 外科1 |
| 外科治療 102(5):P730-738, 2010. 05 | 呼吸器合併症(肺炎、ALI、ARDS) | 小野聡, 辻本広紀, 平木修一, 高畑りさ, 山本順司, 長谷和生 | 外科1 |
| International Journal of Clinical Oncology 15(2):P196-200, 2010. 04 | Isolated gastric metastasis from renal cell carcinoma 19 years after radical nephrectomy | Hidekazu Sugasawa, Takashi Ichikura, Satoshi Ono, Hironori Tsujimoto, Shuichi Hiraki, Naoko Sakamoto, Yoshihisa Yaguchi, H Shimazaki, Junji Yamamoto, Kazuo Hase | 外科1 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|------|
| American Journal of Pathology 34(4):P454-462, 2010. 04 | Objective Criteria for the Grading of Venous Invasion in Colorectal Cancer | Sato Taichi, Ueno Hideki, Mochizuki Hidetaka, Shinto Eiji, Hashiguchi Yojiro, Kajiwara Yoshiki, Shimazaki Hideyuki, Hase Kazuo | 外科1 |
| Hepatology International 4:P406-413, 2010, 04 | Outcomes for patients following hepatic resection of metastatic tumors from gastric cancer | Tsujimoto Hironori, Ichikura Takashi, Ono Satoshi, Sugasawa Hidekazu, Hiraki Shu-ichi, Sakamoto Naoko, Yaguchi Yoshihisa, Hatsuse Kazuo, Yamamoto Junji | 外科1 |
| Audio-Visual Journal of JUA 16(2), 2010. 04 | 横隔膜を少し超える巨大な下大静脈腫瘍血栓を伴う右腎癌に対する1手術例 -手術侵襲を軽減する術式の考察 | 伊藤敬一, 城武卓, 吉井貴彦, 磯田晋, 山本順司, 前原正明, 早川正道, 浅野友彦 | 外科1 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|------|
| J Arrhythmia 26(3):P189-198, 2011. 03 | Characteristic Changes in Heart Rate Variability Induces during Hemorrhagic Shoch, and Effect of Liposome-Encapsulated Hemoglobin in Rats. | Yashiro Nogami, Bonpei Takase, Manabu Kinoshita, Satoshi Shono, Shinich Kaneda, Masayuki Ishihara, Makoto Kikuchi, Tadaaki Maehara | 外科2 |
| 埼玉県医学会雑誌 45(2):P279-284, 2011. 03 | 多発肺癌を含む同時性3重複癌の1例 | 瀧手裕子, 尾関雄一, 川端俊太郎, 田中聖子, 亀田光二, 中山健史, 前原正明 | 外科2 |
| 日本外科学会雑誌 112(2):P139-142, 2011. 03 | 消化器外科領域におけるmid-level provider導入について—大阪大学附属病院消化器外科病棟における意識調査 | 永野浩昭, 矢永勝彦, 西田博, 金子公一, 星野健, 前原正明, 益田宗孝, 松藤凡, 榑野正人, 田林暁一, 富永隆治 | 外科2 |
| Lung Cancer 71(2):P199-204, 2011. 02 | A pilot study of mRNA expressions of 5-fluorouracil pathway genes in peripheral blood mononuclear cells and tumor tissues in patients with lung adenocarcinoma. | Sho Ogata, Ozeki Yuichi, Kuniaki Nakanishi, Yoshinobu Fujita, Fumihiko Tanaka, Seiki Hasegawa, Tadashi Mio, Hiromi Wada, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Katsuyuki Takeuchi, Toshiaki Kawai | 外科2 |
| Pathology International 61(2):P104-107, 2011. 02 | Duodenal gangliocytic paraganglioma with regional lymph-node metastasis and a glandular component. | Sho Ogata, Takuya Horio, Yoshiaki Sugiura, Satoshi Aiko, Shinsuke Aida | 外科2 |
| Journal of Biomedical Materials Research. Part B Applied Biomaterials 96B(2):P234-241, 2011. 02 | Increased survival of free fat grafts and vascularization in rats with local delivery of fragmin/protamine microparticles containing FGF-2 (F/P MP-F) | Sinichirou Nakamura, Masayuki Ishihara, Megumi Takikawa, Kaoru Murakami, Satoko Kishimoto, Shingo Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Yasutaka Mori, Masanori Fujita, Satoshi Kubo, Naoto Yamamoto, Tomoharu Kiyosawa | 外科2 |
| Shock 35(1):P45-52, 2011. 01 | INTRAOSSUEOUS TRANSFUSION WITH LIPOSOME-ENCAPSULATED HEMOGLOBIN IMPROVES MOUSE SURVIVAL AFTER HYPOHEMOGLOBINEMIC SHOCK WITHOUT SCAVENGING NITRIC OXIDE | Satoshi Shono, Manabu Kinoshita, Bonpei Takase, Yashiro Nogami, Shinichi Kaneda, Masayuki Ishihara, Daizoh Saitoh, Makoto Kikuchi, Seki Shuhji | 外科2 |
| 日本外科学会雑誌 112(1):P47-54, 2011. 01 | 英国におけるPA教育の視察と国際PA教育者学会に参加して—非医師診療師・中間職種 の教育のあり方を考える— | 西田博, 田林暁一, 富永隆治, 前原正明, 渡邊孝, 遠藤雅人 | 外科2 |
| Cancer Science 101(12):P2586-2590, 2010. 12 | Computed tomography lymphography for the detection of sentinel nodes in patients with gastric carcinoma. | Tsujimoto Hironori, Yaguchi Yoshihisa, Sakamoto Naoko, Kumano Isao, Takahata Risa, Matsumoto Yusuke, Yoshida Kazumichi, Sugawara Hidekazu, Ono Satoshi, Ichikura Takashi, Yamamoto Junji, Hase Kazuo | 外科2 |
| Annals of Biomedical Engineering 38(12):P3724-3732, 2010. 12 | Hemostasis for Severe Hemorrhage with Photocrosslinkable Chitosan Hydrogel and Calcium Alginate. | Hidemi Hattori, Yoshiko Amano, Yashiro Nogami, Bonpei Takase, Masayuki Ishihara | 外科2 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|------|
| Acta Medica Okayama 64(6):P407-410, 2010. 12 | Sarcoidosis-associated hepatocellular carcinoma | Sho Ogata, Takuya Horio, Yoshiaki Sugiura, Shimazaki Hideyuki, Hiroki Saito, Satoshi Aiko, Kuniaki Nakanishi, Toshiaki Kawai | 外科2 |
| New Biotechnology , 2010. 11 | Improvement of a phiC31 integrase-based gene delivery system that confers high and continuous transgene expression | Satoshi Watanabe, Shingo Nakamura, Takayuki Sakurai, Koji Akasaka, Masahiro Sato | 外科2 |
| 日本外科学会雑誌 111(6):P384-386, 2010. 11 | 周術期管理における看護師の業務拡大に関する意識調査 | 田林 暁一, 門間典子, 西田 博, 前原正明, 富永隆治 | 外科2 |
| J Thorac Cardiovasc Surg 140(3):P624-632, 2010. 09 | Cardiac dysfunction induced by experimental myocardial infarction impairs the host defense response to bacterial infection in mice because of reduced phagocytosis of Kupffer cells. | Yashiro Nogami, Manabu Kinoshita, Bonpei Takase, Inatsu A, Masayuki Ishihara, Shuji Seki, Tadaaki Maehara | 外科2 |
| Wound Repair and Regeneration 18(5):P478-485, 2010. 09 | Enhanced healing of mytomycin C-treated healing-impaired wounds in rats with hydrosheets composed chitin/chitosan, fucoidan, and alginate as wound dressings. | Kaoru Murakami, Masayuki Ishihara, Shingo Nakamura, Sinichirou Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Megumi Takikawa, Satoko Kishimoto, Hidetaka Yokoe, Tomoharu Kiyosawa, Yasunori Sato | 外科2 |
| 日本外科学会雑誌 111(5):P320-322, 2010. 09 | 病院における外科の課題 | 田林 暁一, 西田 博, 前原正明, 富永隆治 | 外科2 |
| 胸部外科 63(10):P911-014, 2010. 09 | 舌区の再発性炎症を契機に発見された気管支カルチノイドの1例 | 橋本 博史, 大鹿芳郎, 小原聖勇, 中岸義典, 田中聖子, 田中良昭, 佐藤仁哉, 松熊晋, 尾関雄一 | 外科2 |
| 癌と化学療法 37(8):P1553-1556, 2010. 08 | 維持透析中の患者に発症した進行肺腺癌に対してゲムシタピン隔週投与で治療を行った1例 | 橋本 博史, 大鹿芳郎, 小原聖勇, 田中良昭, 清水栄一 | 外科2 |
| Annals of Plastic Surgery 65(1):P101-106, 2010. 07 | Platelet-rich plasma (PRP) promotes survival of fat-grafts in rats. | Sinichirou Nakamura, Masayuki Ishihara, Megumi Takikawa, Kaoru Murakami, Satoko Kishimoto, Shingo Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Satoshi Kubo, Naoto Yamamoto, Tomoharu Kiyosawa | 外科2 |
| 日本消化器外科学会雑誌 43(7):P704-709, 2010. 07 | 周術期感染性合併症が消化器癌術後の予後に与える影響 | 辻本広紀, 平木修一, 坂本直子, 矢口義久, 堀尾卓矢, 愛甲聡, 小野聡, 市倉隆, 山本順司, 長谷和生 | 外科2 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--|------|
| 日本外科学会雑誌 111(4):P251-257, 2010. 07 | 外科医療におけるコメディカル診療参加の意義に関する考察 —日本外科学会外科医週間タイムスタディによる外科医業務解析結果から— | 西田 博, 里見 進, 遠藤久夫, 田林 暁一, 兼松隆之, 富永隆治, 前原正明, 伊藤雅治, 宮崎 勝, 金子公一, 白井良夫, 土屋了介, 水野浩昭, 星野 健, 矢永勝彦 | 外科2 |
| 肺癌 50(3):P150-152, 2010. 06 | Gefitinib長期投与後の獲得耐性が疑われた進行肺腺癌に対しGEM(塩酸ゲムシタピン)+VNR(ビノレルピン)が奏効した1例 | 橋本 博史, 中岸義典, 小原聖勇, 大鹿芳郎 | 外科2 |
| Surgery Today 40(5):P451-455, 2010. 05 | Efficacy of peritoneal oxygenation using a novel artificial oxygen carrier (TRM-645) in a rat respiratory insufficiency model | Matsutani Noriyuki, Takase Bonpei, Nogami Yashiro, Ozeki Yuichi, Kaneda Shinichi, Maehara Tadaaki, Kikuchi Makoto, Ishihara Masayuki | 外科2 |
| International Journal of Nanomedicine 5:P147-155, 2010. 05 | Preparation and characterization of low-molecular-weight heparin/protamine nano-particles (LMW-H/P NPs) as FGF-2 carrier. | Yasutaka Mori, Shingo Nakamura, Satoko Kishimoto, Mitsuyuki Kawakami, Satoshi Suzuki, Takemi Matsui, Masayuki Ishihara | 外科2 |
| 胸部外科 63(5):P415-418, 2010. 05 | 手術および放射線治療が奏効した進行胸腺癌の1例 | 橋本 博史, 大鹿芳郎, 小原聖勇, 佐藤仁哉, 松熊晋, 田中良昭 | 外科2 |
| Artificial Organs 34(4):P342-347, 2010. 04 | Effect of photocrosslinkable chitosan hydrogel and its sponges to stop bleeding in a rat liver injury model. | Horio Takuya, Ishihara Masayuki, Fujita Masanori, Kishimoto Satoko, Kanatani Yasuhiro, Ishiduka Takamitsu, Nogami Yashiro, Nakamura Shingo, Tanaka Yoshihiro, Morimoto Yuji, Maehara Tadaaki | 外科2 |
| Lung Cancer 68(1):P58-65, 2010. 04 | LAT1 expression in non-small cell lung carcinomas: analyses by semiquantitative reverse transcription-PCR (237 cases) and immunohistochemistry (295 cases) | Katsuyuki Takeuchi, Sho Ogata, Kuniaki Nakanishi, Yuichi Ozeki, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Hirotaka Matsuo, Tsuneaki Sakata, Toshiaki Kawai | 外科2 |
| Audio-Visual Journal of JUA 16(2):1016, 2010. 04 | 横隔膜を少し超える巨大な下大静脈腫瘍血栓を伴う右腎癌に対する1手術例 -手術侵襲を軽減する術式の考察 | 伊藤敬一, 城武卓, 吉井貴彦, 磯田晋, 山本順司, 前原正明, 早川正道, 浅野友彦 | 外科2 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|------|
| 医学のあゆみ 236(10):P999-1006, 2011. 03 | 向精神薬の作用機序—新規向精神薬を中心として | 丹生谷正史 | 精神科 |
| 女性心身医学 15(3):P291-293, 2011. 03 | 女性更年期うつ病の新しい取り組みと展望 | 野村総一郎 | 精神科 |
| トラウマティック・ストレス 9(1):P105-106, 2011. 03 | 平和維持活動 | 重村淳 | 精神科 |
| 医学のあゆみ 236(10):P941-946, 2011. 03 | 更年期うつ病への薬物的介入 | 山下晃弘, 重村淳, 野村総一郎 | 精神科 |
| トラウマティック・ストレス 9(1):P81-85, 2011. 03 | 災害急性期からの遺族支援—遺体安置所でのDMORT活動から— | 村上典子, 吉永和正, 大庭麻由子, 植田由紀子, 山崎達枝, 久保田千景, 河野智子, 黒川雅代子, 重村淳 | 精神科 |
| 心と社会 41(4):P14-18, 2010. 12 | いわゆる「現代型のうつ病」について | 野村総一郎 | 精神科 |
| アンチ・エイジング医学 6(6):P838-843, 2010. 12 | 抗加齢精神医学の理論基盤をどこに求めるのが適切か? | 丹生谷正史, 野村総一郎 | 精神科 |
| 埼玉医科大学 , 2010. 11 | Gender differences in the fear of terrorism among Japanese individuals in the Washington, D.C. area | Shigemura Jun, Fullerton Carol S., Ursano Robert J., Wang Leming, Querci-Daniore Raffaella, Horikawa Naoshi, Yoshino Aihide, Nomura Soichiro | 精神科 |
| 臨床精神薬理 13(10):P1875-1882, 2010. 10 | SSRIの果たした役割と今後への期待 | 田中徹平, 野村総一郎 | 精神科 |
| 精神科治療学 25(増刊):P358-359, 2010. 10 | てんかんの発作重積状態 | 立澤賢孝, 吉野相英, 野村総一郎 | 精神科 |
| Asian Journal of Psychiatry 3(3):P117-120, 2010. 09 | Gender differences in the fear of terrorism among Japanese individuals in the Washington, D.C. area | Shigemura Jun, Fullerton Carol S., Ursano Robert J., Wang Leming, Querci-Daniore Raffaella, Horikawa Naoshi, Yoshino Aihide, Nomura Soichiro | 精神科 |
| 福岡医学雑誌 101(9):P198-206, 2010. 09 | Modified electroconvulsive therapy for recurrent Major depressive disorder in a meningioma patient; a case of clinical experience | Nakatake Masayuki, Teraishi Toshiya, Ide Makoto, Wakizono Tomoki, Ogawa Tetsuo, Kuwahara Tatsuro, Yoshino Aihide, Nomura Soichiro | 精神科 |
| トラウマティック・ストレス 8(2):P92-93, 2010. 09 | リスクコミュニケーション | 重村淳 | 精神科 |
| 精神医学 52(9):P899-902, 2010. 09 | 難治化した抑うつ状態からの回復過程で体感幻覚を呈した中年男性例へのrisperidoneの効果 | 山下晃弘, 澤村岳人, 羽部仁, 野村総一郎 | 精神科 |
| 精神科治療学 25(8):P1105-1110, 2010. 08 | Olanzapine投与中に生じたPisa症候群の1例 | 竹本浩子, 澤村岳人, 小谷佐知, 清水邦夫, 羽部仁, 野村総一郎 | 精神科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|------|
| 日本生物学的精神医学会誌 21(3):P177-182, 2010. 06 | うつ病の現状と「うつ病対策の総合的提言」の背景 | 武田雅俊, 神庭重信, 野村総一郎 | 精神科 |
| 更年期と加齢のヘルスケア 9(1):P21-29, 2010. 06 | 更年期女性の気分障害 | 野村総一郎 | 精神科 |
| The Journal of Neuropsychiatry and Clinical Neurosciences 22(2):PE27-E27, 2010. 05 | Delusion of Cotard's syndrome successfully treated with a dopamine agonist | Takahashi Tomohisa, Nibuya Masashi, Nomura Soichiro | 精神科 |
| 総合臨牀 59(5):P1173-1176, 2010. 05 | うつ病の診断基準とその使い方 | 田中徹平, 野村総一郎 | 精神科 |
| Epilepsy & Behavior 17(4):P552-554, 2010. 04 | A case of seizures induced by abstract reasoning | Tatsuzawa Yasutaka, Yoshino Aihide, Nomura Soichiro | 精神科 |
| Psychiatry and Clinical Neurosciences 64(2):P179-186, 2010. 04 | Predictors of antidepressant adherence: results of a Japanese Internet-based survey | Shigemura Jun, Ogawa Tetsuo, Yoshino Aihide, Sato Yutaka, Nomura Soichiro | 精神科 |
| Mebio 27(4):P16-21, 2010. 04 | プライマリケアにおけるうつ病診療の意義 と展望 | 野村総一郎 | 精神科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|------|
| Journal of Allergy and Clinical Immunology :P1-5, 2011. 03 | Quantification of κ -deleting recombination excision circles in Guthrie cards for the identification of early B-cell maturation defects | Nakagawa Noriko, Imai Kohsuke, Hirokazu Kanegane, Sato Hiroki, Masafumi Yamada, Kensuke Kondoh, Satoshi Okada, Masao Kobayashi, Kazunaga Agematsu, Hidetoshi Takada, Noriko Mitsuiki, Koichi Oshima, Osamu Ohara, Deepti Suri, Amit Rawat, Surjit Singh, Qiang Pan-Hammarstrom, Lennart Hammarstrom, Janine Reichenbach, Reinhard Seger, Tadashi Ariga, Toshiro Hara, Toshio Miyawaki, Shigeaki Nonoyama | 小児科 |
| Clinical Immunology 138(2):P172-177, 2011. 02 | Analysis of mutations and recombination activity in RAG-deficient patients. | Nonoyama Shigeaki | 小児科 |
| J Exp Med. 208(2):P235-249, 2011. 02 | Defective IL-10 signaling in hyper-IgE syndrome results in impaired generation of tolerogenic dendritic cells and induced regulatory T cells. | Nonoyama Shigeaki | 小児科 |
| 日本周産期・新生児医学会雑誌 46(4):P1240-1244, 2011. 02 | パルボB19ウイルス感染胎児における羊水中ErythropoietinとTroponin-Tを用いた胎児重症度の評価 | 吉田昌史, 松田秀雄, 若松太, 川上裕一, 長谷川ゆり, 吉永洋輔, 浅井一彦, 川嶋章弘, 古谷健一 | 小児科 |
| Cytometry B Clin Cytom. 80(1):P8-13, 2011. 01 | Early and rapid detection of X-linked lymphoproliferative syndrome with SH2D1A mutations by flow cytometry. | Nonoyama Shigeaki | 小児科 |
| Pediatric Blood & Cancer 55(7):P1287-1295, 2010. 12 | Minimal residual disease-based augmented therapy in childhood acute lymphoblastic leukemia: A report from the Japanese Childhood Cancer and Leukemia Study Group. | Yamaji K, Okamoto T, Yokota S, Watanabe A, Horikoshi Y, Asami K, Kikuta A, Hyakuna N, Saikawa Y, Ueyama J, Watanabe T, Okada M, Taga T, Kanegane H, Kogawa Kazuhiro, Chin M, Iwai A, Matsushita T, Shimomura Y, Hori T, Tsurusawa M | 小児科 |
| Medicine (Baltimore) 89(6):P403-425, 2010. 11 | Clinical features and outcome of patients with IRAK-4 and MyD88 deficiency. | Nonoyama Shigeaki | 小児科 |
| J Investig Allergol Clin Immunol. 20(5):P442-445, 2010. 10 | Ataxia-telangiectasia in a patient presenting with hyper-immunoglobulin M syndrome. | Nonoyama Shigeaki | 小児科 |
| Blood 116(22):P4631-4638, 2010. 09 | Down syndrome and GATA1 mutations in transient abnormal myeloproliferative disorder: mutation classes correlate with progression to myeloid leukemia. | Kanezaki R, Toki T, Terui K, Xu G, Wang R, Shimada A, Hama A, Kanegane H, Kawakami K, Endo M, Hasegawa D, Kogawa Kazuhiro, Adachi S, Ikeda Y, Iwamoto S, Taga T, Kosaka Y, Kojima S, Hayashi Y, Ito E | 小児科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|------|
| Hum Pathol. 41(9):P1276-1285, 2010. 09 | Localization of nephritis-associated plasmin receptor in acute poststreptococcal glomerulonephritis | Takashi Oda, Nobuyuki Yoshizawa, Kazuo Yamakami, Kikuko Tamura, Aki Kuroki, Tetsuzo Sugisaki, Emi Sawanobori, Kohsuke Higashida, Yoshiyuki Ohtomo, Osamu Hotta, Hiroo Kumagai, Soichiro Miura | 小児科 |
| Circulation Journal 74(7):P1442-1450, 2010. 07 | Fetal and neonatal development of Ca ²⁺ transients and functional sarcoplasmic reticulum in beating mouse hearts. | Nonoyama Shigeaki | 小児科 |
| Clin Exp Rheumatol. 28(4):P558-560, 2010. 07 | Hyper IgM syndrome and complement C1q deficiency in an individual with systemic lupus erythematosus-like disease. | Nonoyama Shigeaki | 小児科 |
| 防衛衛生 57:P73-81, 2010. 05 | 2008年海上自衛隊における麻疹集団発生の疫学的調査検討 | 五十嵐正巳, 庄野聡, 黒川黄幸, 関修司 | 小児科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---|------|
| Lasers in Surgery and Medicine 43(3):P221-229, 2011. 03 | Photodynamic Therapy Using Intra-Articular Photofrin for Murine MRSA Arthritis:Biphasic Light Dose Response for Neutrophil-Mediated Antibacterial Effect | Masamitsu Tanaka, Manabu Kinoshita, Yasuo Yoshihara, Nariyoshi Shinomiya, Shuji Seki, Koichi Nemoto, Michael R. Hamblin, Yuji Morimoto | 整形外科 |
| JOSKAS 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌 36(1):P114-115, 2011. 03 | 両側同時TKAにおけるトラネキサム酸を用いたドレーンクランプ法の術後出血に対する効果 | 三尾健介, 金子大毅, 中谷創, 藤木崇史, 笠原純, 根本孝一 | 整形外科 |
| JOSKAS 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌 36(1):P164-165, 2011. 03 | 発症から長期間経過した成人例膝関節離断性骨軟骨炎の治療経験 | 中谷創, 三尾健介, 金子大毅, 藤木崇史, 笠原純, 根本孝一 | 整形外科 |
| 脊椎脊髄ジャーナル 24(2):P151-154, 2011. 02 | 腫瘍内出血により対麻痺を生じた胸髄神経鞘腫の1例 | 高井大樹, 今林英明, 松川啓太郎, 谷戸祥之, 朝妻孝仁, 根本孝一 | 整形外科 |
| BMS Neuroscience :P1-8, 2011. 01 | Axonal outgrowth is associated with increased ERK 1/2 activation but decreased caspase 3 linked cell death in Schwann cells after immediate nerve repair in rats | Yoshifumi Tsuda, Martin Kanje, Lars B Dahlin | 整形外科 |
| 日本手外科学会雑誌 27(4):P364-367, 2011. 01 | ラット坐骨神経縫合後のERK1/2の発現と軸索再生 | 津田悦史, Martin Kanje, Lars B. Dahlin | 整形外科 |
| 日本手外科学会雑誌 27(4):P368-371, 2011. 01 | ラット神経因性疼痛モデルにおける拘束ストレスの影響 | 尼子雅敏, 根本孝一, 有野浩司, 土原豊一, 山元浩治, 津田悦史 | 整形外科 |
| 日本人工関節学会誌 40:P420-421, 2010. 12 | AML-A型ステムを用いた人工股関節置換術の長期成績 | 吉原愛雄, 城本雄一郎, 三原政彦, 桑久保正利, 河野友紀 | 整形外科 |
| 日本人工関節学会誌 40:P398-399, 2010. 12 | S-ROM大腿骨コンポーネントを用いたTHAの術後成績 | 三原政彦, 吉原愛雄, 城本雄一郎, 桑久保正利, 河野友紀, 根本孝一 | 整形外科 |
| 末梢神経 21(2):P313-314, 2010. 12 | 丸文字訓練で書字が短時間可能になった書癩患者の一例 | 有野浩司, 三澤里織, 椎名義明, 小林 龍生, 尼子雅敏, 根本孝一 | 整形外科 |
| 末梢神経 21(2):P311-312, 2010. 12 | 末梢神経損傷後の感覚神経機能回復におけるストレスの影響 | 尼子雅敏, 根本孝一, 有野浩司, 津田悦史, 岡林俊貴, 山元浩治, 土原豊一 | 整形外科 |
| 日本手外科学会雑誌 26(6):P513-515, 2010. 11 | 当科におけるDupuytren拘縮の術後成績 | 尼子雅敏, 有野浩司, 根本孝一, 津田悦史, 田中優砂光, 渡邊樹一 | 整形外科 |
| International Journal for Parasitology 40(13):P1549-1561, 2010. 10 | Quantitative and qualitative features of heterologous virus-vector-induced antigen-specific CD8 ⁺ U+ ⁺ UR T cells against <i>#ITrypanosoma cruzi</i> IR infection | Eiji Takayama, Takeshi Ono, Elena Carnero, Saori Umemoto, Yamaguchi Yoko, Atsuhiko Kanayama, Takemi Oguma, Yasuhiro Takashima, Takushi Tadakuma, Adolfo Garcia-Sastre, Miyahira Yasushi | 整形外科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|------|
| Hip Joint 36:P331-334, 2010. 10 | S-ROM大腿骨コンポーネントを用いた初回人工股関節全置換術の術後成績 | 三原政彦, 吉原愛雄, 城本雄一郎, 桑久保正利, 河野友紀, 根本孝一 | 整形外科 |
| 整形・災害外科 53(11):P1224-1225, 2010. 10 | 分子レベルからみた整形外科疾患(シリーズVIII) 転移性脊椎腫瘍におけるRANKL/OPG発現の意義 | 大橋一輝, 吉原愛雄, 朝妻孝仁, 三原政彦, 根本孝一, 津田均 | 整形外科 |
| 関東整形災害外科学会雑誌 41(5):P317-322, 2010. 10 | 大腿骨頭下に病的骨折を生じたMcCune-Albright症候群の1手術例 | 伊藤雄也, 吉原愛雄, 城本雄一郎, 桑久保正利, 三原政彦, 河野友紀, 根本孝一 | 整形外科 |
| 別冊整形外科 58:P232-235, 2010. 10 | 肩関節術後リハビリテーションにおける経時的肩内外旋筋力の有用性 | 尼子雅敏, 有野浩司, 根本孝一 | 整形外科 |
| Journal of Spine Research 1(10):P1864-1867, 2010. 10 | 骨粗鬆症性椎体骨折に対する後方手術の検討 偽関節症例を中心に | 今林英明, 松川啓太郎, 谷戸祥之, 斉藤正史, 朝妻孝仁, 根本孝一 | 整形外科 |
| PLoS ONE 5(9), 2010. 09 | Axonal-Transport-Mediated Gene Transduction in the Interior of Rat Bone | Toshitaka Okabayashi, Kuniaki Nakanishi, Toyokazu Tsuchihara, Hiroshi Arino, Yasuo Yoshihara, Susumu Tominaga, MakiUenoyama, Shinya Suzuki, Masataka Asagiri, Koichi Nemoto | 整形外科 |
| 整形外科 61(10):P1077-1079, 2010. 09 | 石灰化を伴う軸椎歯突起後方偽腫瘍が消失した1例 | 松川啓太郎, 今林英明, 谷戸祥之, 安田明世, 朝妻孝仁, 根本孝一 | 整形外科 |
| International Medical Case Reports Journal 3:P77-80, 2010. 08 | Acute pyogenic discitis in a degenerative intervertebral disc in an adult | Masamitsu Tanaka, Hiroshi Shimizu, Yoshiyuki Yato, Takashi Asazuma, Koichi Nemoto | 整形外科 |
| 防衛衛生 57(6, 7):P115-119, 210. 07 | 解剖学的破格を伴った梨状筋症候群の1例 | 三原政彦, 塚崎哲史, 松川啓太郎, 大草康, 畑田淳一 | 整形外科 |
| 防衛衛生 57(6, 7):P111-114, 210. 07 | 陳旧性膝蓋腱断裂の一例 | 桑久保正利, 三尾健介, 金子大毅, 小林龍生, 瀧川真人, 佐々尾宙, 根本孝一 | 整形外科 |
| 肩関節 34(2):P329-332, 2010. 06 | SLAP病変に対するvirtual CT arthroscopyの試み | 尼子雅敏, 有野浩司, 津田悦史, 田中優砂光, 渡邊樹一, 根本孝一 | 整形外科 |
| SPINE 35(14):PE672-E675, 2010. 06 | Torticollis of a specific C1 dislocation with split atlas | Atsuko Tachibana, Hideaki Imabayashi, Yoshiyuki Yato, Kiyohiro Nakamichi, Takashi Asazuma, Koichi Nemoto | 整形外科 |
| 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会誌 35:P358-363, 2010. 05 | 内側半月板切除後に生じた脛骨内顆特発性骨壊死の2例 | 金子大毅, 三尾健介, 瀧川真人, 小林龍生, 三原政彦, 根本孝一 | 整形外科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---------------------------------|--|------|
| 日本脊髄障害医学会誌 23(1):P196-197, 2010. 05 | 膀胱直腸障害を呈した広範囲脊髄硬膜外血種の1例 | 松橋優介, 今林英明, 谷戸祥之, 朝妻孝仁 | 整形外科 |
| JOSKAS 35(1):P146-147, 2010. 04 | MRIを用いた膝蓋大腿関節のアライメント評価ソフトウェアの開発 | 小林 龍生, 脇坂仁, 三尾健介 | 整形外科 |
| 関東膝を語る会誌 26(1):P1-3, 2010. 04 | 大腿骨内顆部骨壊死に脛骨内顆部の脆弱性骨折を合併した1例 | 加藤貴志, 三尾健介, 金子大毅, 松川啓太郎, 小林龍生, 中谷創, 藤木崇史, 根本孝一 | 整形外科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---|-------|
| J Neurosurg 114(3):P886-886, 2011.03 | Safe entry point. | 竹内誠, 長谷公洋, 大谷直樹, 苗代弘 | 脳神経外科 |
| Journal of Biomedical Optics 16(2):P027002-1-027002-8, 2011.02 | Light-scattering signal may indicate critical time zone to rescue brain tissue after hypoxia | Kawauchi Satoko, Sato Shunichi, Uozumi Yoichi, Nawashiro Hiroshi, Ishihara Miya, Kikuchi Makoto | 脳神経外科 |
| Proceedings of SPIE 7907:P79070M1-79070M6, 2011.02 | Near-infrared scattering imaging of depolarization waves in a rat hypoxic brain model and its application to assessment of brain tissue reversibility | Kawauchi Satoko, Sato Shunichi, Uozumi Yoichi, Nawashiro Hiroshi, Ishihara Miya, Kikuchi Makoto | 脳神経外科 |
| Br J Neurosurg 25(1):P62-67, 2011.02 | Traumatic intra-cerebellar haematoma: study of 17 cases. | 竹内誠, 高里良男 | 脳神経外科 |
| Neurol Med Chir (Tokyo) 51(1):P72-75, 2011.01 | Cerebral infarction along the distribution of perforating arteries during aneurysm surgery in a patient with pheochromocytoma. | Tsuzuki N, Hiroshi Nawashiro, Toyooka T, Hideo Osada, Naoki Otani, Takamoto Suzuki, Atsushi Ohsumi, Katsuji Shima | 脳神経外科 |
| Proc. SPIE 7883:P78834S-8pages, 2011.01 | Efficient delivery of small interfering RNA into injured spinal cords in rats by photomechanical waves. | Takahiro Ando, Shunichi sato, Terushige Toyooka, Hiroaki Kobayashi, Hiroshi Nawashiro, Hiroshi Ashida, Minoru Obara | 脳神経外科 |
| Proc. SPIE 7897:P78971V-7pages, 2011.01 | Traumatic brain injury caused by laser-induced shock wave in rats: a novel laboratory model for studying blast-induced traumatic brain injury, roc. | Ben Hatano, Yoshihisa Matsumoto, Naoki Otani, Daizoh Saitoh, Shinichi Tokuno, Yasushi Satoh, Hiroshi Nawashiro, Yoshitaro Matsushita, Shunichi Sato | 脳神経外科 |
| Acta Neurochir Suppl. 106:P257-260, 2010.12 | Significance of monitoring the initial intracranial pressure on hematoma irrigation with trephination therapy for acute subdural hematoma in critical condition | Otani N, Takasato Y, Masaoka H, Hayakawa T, Yoshino Y, Yatsushige H, Takeuchi S | 脳神経外科 |
| J Clin Neurosci 17(12):P1527-1529, 2010.12 | Traumatic interhemispheric subdural haematoma: Study of 35 cases. | 竹内誠, 高里良男 | 脳神経外科 |
| 神経外傷 33(2):P133-144, 2010.12 | 「外傷に伴う低髄液圧症候群」作業部会報告:前向き調査について | 前田剛, 土肥謙二, 片山容一, 有賀徹, 阿部俊昭, 小川武希, 小沼武英, 榑寿右, 島克司, 平川公義, 川又達朗, 刈部博, 平林秀裕, 村上成之, 苗代弘, 井田正博, 馬場久敏 | 脳神経外科 |
| Neurol India 58(6):P980-981, 2010.11 | Decompressive surgery for severe cerebral venous sinus thrombosis. | 高里良男, 竹内誠 | 脳神経外科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|-------|
| 慢性疼痛 29(11):P15-21, 2010. 11 | 低髄液圧症候群:診断と治療の問題点 | 島克司 | 脳神経外科 |
| J Infect Chemother 16:P345-349, 2010. 09 | Epidural abscess caused by community-associated methicillin-resistant Staphylococcus aureus strain US300 in Japan | Masaaki Higashiyama, Teruyo Ito, Xiao Han, Kenichiro Ono, Kenzo Minamimura, Fumihiro Sakakibara, Akemi Tanno, Junichiro Nishiyama, Junichi Hatada, Keiichi Hiramatsu, Akihiko Kawana | 脳神経外科 |
| Neurosurgical Emergency 15(1):P25-30, 2010. 08 | 2007年における所沢市で救急搬送となった脳梗塞症例の現状 | 柳川洋一, 小山和夫, 大河原治平, 加藤裕, 北秀幸, 苗代弘, 島克司, 阪本敏久 | 脳神経外科 |
| No Shinkei Geka 38(8):P695-702, 2010. 08 | 頭部爆風の特徴 | 松本佳久, 波多野弁, 松下芳太郎, 苗代弘, 島克司 | 脳神経外科 |
| Lasers in Surgery and Medicine 42:P566-576, 2010. 07 | Targeted increase in cerebral blood flow by transcranial near-infrared laser irradiation | Uozumi Yoichi, Nawashiro Hiroshi, Sato Shunichij, Kawachi Satoko, Shima Katsuji, Kikuchi Makoto | 脳神経外科 |
| 脳卒中の外科 38:P87-90, 2010. 06 | 妊産婦脳出血の2症例 | 松本佳久, 都築伸介, 苗代弘, 鈴木隆元, 南村鎌三, 景山寛志, 鷺見賢司, 長谷公洋, 藤井和也, 大谷直樹, 長田秀夫, 島克司 | 脳神経外科 |
| Progress in Medicine 30(6):P1773-1776, 2010. 06 | 症候性頭蓋内動脈狭窄に対するシロスタゾール(プレタール)の使用経験 | 中井完治, 長田秀夫, 藤井和也, 都築伸介, 苗代弘, 加地辰美 | 脳神経外科 |
| Asian Journal of Neurosurgery 5:P15-23, 2010. 05 | JSNT-guidelines for the management of severe head injury (Abridged edition) | Shima Katsuji, Aruga Tooru, Onuma Takehide, Shigemori Minoru | 脳神経外科 |
| J Neurotrauma. 2010 Apr 22. [Epub ahead of print] :P2-42, 2010. 04 | Temporal and Spatial Profile of Phosphorylated Connexin43 Following Traumatic Brain Injury in Rats. | Ohsumi Atsushi, Nawashiro Hiroshi, Otani Naoki, Ooigawa Hidetoshi, Toyooka Terushige, Shima Katsuji | 脳神経外科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|------|
| Contact Dermatitis 64(3):P171-172, 2011. 03 | Is matrix metalloproteinase (MMP)-9 a culprit involved in dermatitis? Increased expression of gelatinolytic activity in allergic contact dermatitis. | 小林孝志 | 皮膚科 |
| 臨床皮膚科 65(2):P141-144, 2010. 02 | 手指後爪郭部に生じた基底細胞癌の1例 | 芝容平, 浅野千賀, 阿部浩之, 青木繁, 藤本典宏, 小林孝志, 多島新吾 | 皮膚科 |
| 皮膚科の臨床 53(2):P182-183, 2011. 02 | 潰瘍を伴ったアナフィラクトイド紫斑 | 崎山真幸, 芝容平, 浅野千賀, 藤本典宏, 小林孝志, 多島新吾 | 皮膚科 |
| 皮膚科の臨床 52(12):P1940-1941, 2010. 11 | 術後18年目に局所皮膚再発した乳癌の1例 | 浅野千賀, 阿部浩之, 青木繁, 藤本典宏, 小林孝志, 多島新吾 | 皮膚科 |
| 臨床皮膚科 64(12):P939-941, 2010. 10 | 弾性線維腫の1例 | 東野俊英, 浅野千賀, 阿部浩之, 青木繁, 岩崎純也, 藤本典宏, 小林孝志, 多島新吾 | 皮膚科 |
| The Journal of Dermatology 37(1):P73-80, 2010. 09 | Involvement of dermal carbonyl modification in yellowish change of skin color with photo-aging in Japanese | Yuki Ogura, Tomohiro Kuwahara, Tetsuji Hirao, Minoru Akiyama, Shingo Tajima, Kazuhisa Hattori, Kouhei Okamoto, Shinpei Okawa, Yukio Yamada, Hachiro Tagami, Motoji Takahashi | 皮膚科 |
| The Journal of Dermatology 37(4):P330-338, 2010. 08 | Collagen-derived dipeptide, proline-hydroxyproline, stimulates cell proliferation and hyaluronic acid synthesis in cultured human dermal fibroblasts | Hiroki OHARA, Satomi ICHIKAWA, Hitoshi MATSUMOTO, Minoru Akiyama, Norihiro Fujimoto, Kobayashi Takashi, Shingo Tajima | 皮膚科 |
| 皮膚科の臨床 52(7):P941-945, 2010. 07 | 30年放置された大型の皮疹を呈した Chromoblastomycosisの1例 | 前田麻衣子, 藤本栄大, 福本瞳, 藤本典宏, 小林孝志, 多島新吾 | 皮膚科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---|------|
| Int J Urol. 17(9):P776-782, 2010. 12 | Transurethral resection of the prostate immediately after high-intensity focused ultrasound treatment for prostate cancer | Sumitomo Makoto, Asakuma Junichi, Sato Akinori, Ito Keiichi, Nagakura Kazuhiko, Asano Tomohiko | 泌尿器科 |
| Int J Urol. 17(9):P776-782, 2010. 09 | Anterior perirectal fat tissue thickness is a strong predictor of recurrence after high-intensity focused ultrasound for prostate cancer | Sumitomo Makoto, Asakuma Junichi, Yoshii Hidehiko, Sato Akinori, Horiguchi Akio, Ito Keiichi, Nagakura Kazuhiko, Asano Tomohiko | 泌尿器科 |
| Urology 76(3):Pe7-e13, 2010. 09 | Combination of suberoylanilide hydroxamic acid and ritonavir is effective against renal cancer cells | Akinori Sato, Takako Asano, Akio Horiguchi, Keiichi Ito, Makoto Sumitomo, Tomohiko Asano | 泌尿器科 |
| Cancer Science 101(9):P1970-1976, 2010. 09 | Protein overexpression and gene amplification of epidermal growth factor receptor in adult testicular germ cell tumors: potential role in tumor progression | Miyai Kosuke, Yamamoto Sohei, Asano Tomohiko, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu, Tsuda Hitoshi | 泌尿器科 |
| The Prostate 70(12):P1286-1294, 2010. 09 | Saporin toxin-conjugated monoclonal antibody targeting prostate-specific membrane antigen has potent anticancer activity. | 黒田健司, He Liu, Sae Kim, Ming Guo, Vincent Navarro, Neil Bander | 泌尿器科 |
| International Journal of Urology 17(12):P1004-1007, 2010. 09 | Severe polyuria after the resection of adrenal pheochromocytoma | Tobe Musashi, Ito Keiichi, Umeda Shun, Sato Akinori, Noriaki Adaniya, Tanaka Yuji, Hayakawa Masamichi, Asano Tomohiko | 泌尿器科 |
| 日本泌尿器科学会雑誌 101(6):P734-737, 2010. 09 | 女性尿道原発無色素性悪性黒色腫の一例 | 吉井貴彦, 堀口明男, 城武卓, 戸邊武蔵, 田崎新資, 早川正道, 住友誠, 浅野友彦 | 泌尿器科 |
| 泌尿器科紀要 56(10):P543-549, 2010. 09 | 腎癌肝転移に対するSMANCS/Lipiodol動注療法の実験 | 梅田俊, 伊藤敬一, 高橋英二, 木村文宏, 住友誠, 加地辰美, 早川正道, 浅野友彦 | 泌尿器科 |
| Int J Urol. 17(8):P743-752, 2010. 08 | Fifth joint meeting of the AUA and the JUA International Affiliate Society Meeting at the 105th Annual Meeting of the American Urological Association | Myers RP, Seki N, Gotoh M, Chai TC, Kaplan SA, Inoue K, Trachtenberg J, Kikuchi E, Nishiyama H, Chang SS, Lee C, Muto S, Ito K, Andriole GL, Eto M, Sumitomo Makoto, Kamba T, Wood CG | 泌尿器科 |
| 泌尿器科紀要 56(8):P463-465, 2010. 08 | 性的成熟期の女性に発症した陰唇癒着症の1例 | 辻田裕二郎, 朝隈純一, 神原太樹, 吉井貴彦, 東隆一, 住友誠, 浅野友彦 | 泌尿器科 |
| Br J Cancer 102(11):P1592-1599, 2010. 05 | STAT3 inhibitor WP1066 as a novel therapeutic agent for renal cell carcinoma | Horiguchi A, Asano Takako, 黒田健司, A. Sato, Asakuma J, Ito Keiichi, Hayakawa Masamichi, Sumitomo Makoto, Asano Tomohiko | 泌尿器科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|------|
| The Journal of Urology 183(4):P1630- 1635, 2010. 04 | ADRENOMEDULLIN INCREASES RENAL NITRIC OXIDE PRODUCTION AND AMELIORATES RENAL INJURY IN MICE WITH UNILATERAL URETERAL OBSTRUCTION | Ito Keiichi, Yoshii Hidehiko, Asano Takako, Ishizeki Kaori, Mizuguchi Yasunori, Yamanaka Masanori, Tokonabe Shigeki, Hayakawa Masamichi, Asano Tomohiko | 泌尿器科 |
| Audio-Visual Journal of JUA 16(2), 2010. 04 | 横隔膜を少し超える巨大な下大静脈腫瘍塞 栓を伴う右腎癌に対する1手術例 -手術侵襲 を軽減する術式の考察 | 伊藤敬一, 城武卓, 吉井貴 彦, 磯田晋, 山本順司, 前 原正明, 早川正道, 浅野友 彦 | 泌尿器科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|-------|
| Fetal Diagn Ther2011, (29):P229-232, 2011.03 | Accumulation of Fetal IgG Immunoglobulin Injection into the Fetal Abdominal Cavity Is Proven | Masashi Yoshida, Hideo Matsuda, Yuri Hasegawa, Yousuke Yoshinaga, Kazuhiko Asai, Akihiro Kawashima, Kenichi Furuya | 産科婦人科 |
| H22年度厚生労働科学研究 費補助金エイズ対策研究事 業(H21-エイズ一般-002) 総括研究分担報告書 :P22-68, 2011.03 | HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析およ び診療・支援体制の整備に関する総合的研 究 | 喜多恒和, 大井理恵, 太田 寛, 小林裕幸, 佐久本薫, 瀬戸裕, 高野政志, 中西美 紗緒, 松田秀雄, 箕浦茂 樹, 坂口順子, 金子ゆかり | 産科婦人科 |
| Clinical and Experimental Obstetrics & Gynecology 38(2):P177-179, 2011.03 | Two cases of measles in pregnant women immediately preceding delivery(case reports) | Masashi Yoshida, Hideo Matsuda, Kenichi Furuya | 産科婦人科 |
| International Journal of Gynecological Pathology 30(2):P129-138, 2011.03 | Validation of the histological grading for ovarian clear-cell adenocarcinoma: a retrospective multi-institutional study of Japan Clear Cell Carcinoma Study Group | Sohei Yamamoto, Atsuko Kasajima, Masashi Takano, Nobuo Yaegashi, Mitsuaki Suzuki, Kazuo Kuzuya, Junzo Kigawa, Hiroshi Tsuda, Hirohisa Kurachi, Yoshihiro Kikuchi, Toru Sugiyama, Hitoshi Tsuda, Takuya Moriya | 産科婦人科 |
| 厚生労働省科学研究費補助 金 エイズ対策研究事業 周 産期・小児・生殖医療にお けるHIV感染対策に関する 集学的研究平成18年度総 括・分担研究報告書 2011; :P46-79, 2011.03 | 周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対 策に関する集学的研究:HIV感染妊婦の実態 調査とその解析およびHIV感染妊婦とその出 生児に関するデータベースの構築 | 喜多恒和, 井上孝実, 岩田 みさ子, 北村勝彦, 工藤一 弥, 小早川あかり, 小林裕 幸, 佐久本薫, 高野政志, 中西美紗緒, 早川智, 松田 秀雄, 箕浦茂樹, 吉野直人 | 産科婦人科 |
| 厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業:化学療 法先行治療を進行卵巣がん の標準治療とするための研 究:H22年度総括研究報告書 :P18-25, 2011.03 | 早期卵巣明細胞癌に対する化学療法の有用 性に関する検討 | 高野政志, 後藤友子, 平田 純子, 加藤雅史, 渡邊昭 夫, 宮本守員, 佐々木直樹 | 産科婦人科 |
| International Journal of Gynecological Cancer 21(2):P263-268, 2011.02 | Potential Survival Benefit of Secondary Cytoreductive Surgery for Recurrent Epithelial Ovarian, Tubal, and Peritoneal Cancers. | Tomoko Goto, Masashi Takano, Akio Watanabe, Morikazu Miyamoto, Masafumi Kato, Junko Hirata, HidenoriSasa, Kenichi Furuya | 産科婦人科 |
| 日本周産期・新生児医学会 雑誌 46(4):P1240-1244, 2011.02 | パルボB19ウイルス感染胎児における羊水中 ErythropoietinとTroponin-Tを用いた胎児 重症度の評価 | 吉田昌史, 松田秀雄, 若松 太, 川上裕一, 長谷川ゆ り, 吉永洋輔, 浅井一彦, 川嶋章弘, 古谷健一 | 産科婦人科 |
| 周産期医学 41(2):P199-204, 2011.02 | パルボウイルス | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| 日本周産期・新生児医学会 雑誌 46(4):P1302-1305, 2011.02 | 前置胎盤を合併した無症候性帝王切開創離 解における造影MRI所見 | 川嶋章弘, 松田秀雄, 長谷 川ゆり, 吉田昌史, 古谷健 一 | 産科婦人科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|-------|
| 産婦人科治療 102(2):P139-144, 2011. 02 | 母子感染最近の話題 —産婦人科医会妊婦健診における先天感染関連検査調査結果報告ならびにHTLV-1公費助成— | 松田秀雄, 塚原優己, 前村實満, 五味淵秀人, 西井修, 中井章人, 田中政信, 竹村秀雄, 寺尾俊彦 | 産科婦人科 |
| 助産雑誌 165:P43-45, 2011. 01 | 分娩時出血への対応:産科危機的出血への対応ガイドラインの紹介-前置胎盤への対応 | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| 日本婦人科腫瘍学会雑誌、 29(1):P1-5, 2011. 01 | 分子標的薬をいかに卵巣がん治療に導入するか | 高野政志, 菊池義公, 工藤一弥, 喜多恒和, 宮本守員, 渡邊昭夫, 加藤雅史, 後藤友子, 古谷健一 | 産科婦人科 |
| 日本婦人科腫瘍学会雑誌、 29(1):P98-106, 2011. 01 | 卵巣明細胞癌は予後不良因子なのか? | 宮本守員, 高野政志, 後藤友子, 曾山 浩明, 秋元太志, 浅井一彦, 渡邊昭夫, 加藤雅史, 吉川智之, 佐々木直樹, 平田純子, 笹秀典, 古谷健一 | 産科婦人科 |
| よくわかる妊娠高血圧症候群Q&A :P20-23, 2011. 01 | 子癇(妊婦の痙攣)とは何ですか? | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| ペリネイタルケア 通巻387号 :P56-61, 2011. 01 | 癒着胎盤 | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| International Journal of Gynecological Cancer 20(9):P1506-1510, 2010. 12 | Less impact of adjuvant chemotherapy for stage I clear cell carcinoma of the ovary: a retrospective Japan Clear Cell Carcinoma Study. | Masashi Takano, Toru Sugiyama, Nobuo Yaegashi, Satoru Sagae, Kazuo Kuzuya, Yasuhiro Udagawa, Hiroshi Tsuda, Mitsuaki Suzuki, Junzo Kigawa, Tomoko Goto, Hitoshi Tsuda, Takuya Moriya, Yoshihiro Kikuchi | 産科婦人科 |
| 周産期医学Vol 40増刊号 :P297-300, 2010. 12 | 分娩時の新生児の処置 | 吉永洋輔, 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| 周産期医学Vol 40増刊号 :P381-384, 2010. 12 | 前置胎盤 | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| 卵巣がん治療ガイドライン:金原出版, 2010. 12 | 卵巣がん 治療ガイドライン | 高野政志 | 産科婦人科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|-------|
| 子宮頸がん・子宮体がん・ 卵巣がん治療ガイドライン の解説:金原出版 ,2010.12 | 子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん 治療ガ イドラインの解説 | 高野政志 | 産科婦人科 |
| 子宮筋層病変生検研究会誌 10(1):P4-5,2010.11 | 婦人科悪性腫瘍の診断における針生検の有 用性と限界について(第2報) | 宮本守員, 笹秀典, 渡邊昭 夫, 吉川智之, 加藤雅史, 後藤友子, 高野政志, 相田 真介, 古谷健一 | 産科婦人科 |
| journal of 30:P580-583,2010.09 | Effectiveness of epidural anesthesia for external cephalic version(ECV) | Masashi Yoshida, Hideo Matsuda, Yuichi Kawakami, Yuri Hasegawa, Yousuke Yoshinaga, Eiji Hayata, Kazuhiko Asai, Akihiro Kawashima, Kenichi Furuya | 産科婦人科 |
| 産科と婦人科 77(9):P1036-1043,2010.09 | イリノテカン有害事象とUGT1A1遺伝子多型 | 高野政志, 渡邊昭夫, 宮本 守員, 後藤友子, 笹秀典, 古谷健一 | 産科婦人科 |
| Gynecologic Oncology 118(2):P160-166,2010.08 | Amplification of GNAS may be an independent, qualitative, and reproducible biomarker to predict progression-free survival in epithelial ovarian cancer. | Ei-ichiro Tominaga, Hiroshi Tsuda, Tokuzo Arao, Sadako Nishimura, Masashi Takano, Fumio Kataoka, Hiroyuki Nomura, Akira Hirasawa, Daisuke Aoki, Kazuto Nishio | 産科婦人科 |
| Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 36(4):P764-768,2010.08 | Single nedaplatin treatment as salvage chemotherapy for platinum/taxane- resistant/refractory epithelial ovarian, tubal and peritoneal cancers | Tomoko Goto, Masashi Takano, Rie Ohishi, Norihiro Iwasa, Motohiro Shimizu, Kosei Hasegawa, Shoji Nagao, Keiichi Fujiwara | 産科婦人科 |
| HIV母子感染全国調査研究 報告書 平成21年度 :P2-51,2010.07 | HIV感染妊婦とその出生児に関するデー タベースの構築およびHIV感染妊婦の疫学的・ 臨床的情報解析HIV母子感染全国調査研究報 告書 平成21年度p2 | 喜多恒和, 岩田みさ子, 小 林裕幸, 佐久本薫, 高野政 志, 田口彰則, 中西美紗 緒, 松田秀雄, 笑浦茂樹 | 産科婦人科 |
| International Journal of Gynecological Pathology : official journal of the International Society of Gynecological Pathologists 29(4):P321-327,2010.07 | Massive intra-abdominal undifferentiated carcinoma derived from an endometrioid adenocarcinoma in a "normal-sized" ovary | Kosuke Miyai, Sohei Yamamoto, Shinsuke Aida, Hideyuki Shimazaki, Masashi Takano, Kazuya Kudoh, Kenichi Furuya, Seiichi Tamai, Osamu Matsubara | 産科婦人科 |
| 周産期医学 40(7):P1063-1066,2010.07 | 周産期医療と胎盤—最近の話題—胎盤の物 質輸送と通過性— 細菌・ウイルス | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| 産婦人科の実際、 59(7):P1093-1098,2010.07 | 婦人科腫瘍と遺伝子—注目される遺伝子と その役割、そして臨床応用— パクリタキセ ルやベバシズマブとVEGF | 喜多恒和, 高野政志, 工藤 一弥, 菊池義公 | 産科婦人科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|--|-------|
| 産科救急ハンドブック :P197-202, 2010. 07 | 産科出血一子宮破裂、頸管裂傷 | 松田秀雄, 吉永洋輔 | 産科婦人科 |
| 産科救急ハンドブック :P110-114, 2010. 07 | 産科危機的出血への対応ガイドライン—術前貯血式自己血輸血と術中回収式自己血輸血 (cell salvage 法) | 松田秀雄, 吉田昌史 | 産科婦人科 |
| 麻酔 59(7):P918-921, 2010. 07 | 穿通胎盤合併妊娠の帝王切開の麻酔管理 | 北井由美子, 礫石 正明, 福田功, 松田秀雄, 風間富栄 | 産科婦人科 |
| 日本婦人科腫瘍学会雑誌 28(3):P385-395, 2010. 07 | 第47回 日本婦人科腫瘍学会学術講演会ワークショップ2 卵巣癌治療における新たな展開 2. 組織型別化学療法: 卵巣明細胞腺癌に塩酸イリノテカンは無効か? | 高野政志, 渡邊昭夫, 宮本守員, 加藤雅史, 吉川智之, 佐々木直樹, 後藤友子, 古谷健一 | 産科婦人科 |
| 日本臨床細胞学会 埼玉県支部会誌 28:P20-23, 2010. 06 | 診断に苦慮した子宮頸部腺癌の2例 | 清水基弘, 大石理恵, 後藤友子, 藤原恵一, 水上順智, 藤村正樹, 鎌倉靖夫, 中村勝, 清水禎彦, 新井栄一, 安田政美, 清水道生 | 産科婦人科 |
| Histopathology 56(6):P740-749, 2010. 05 | Cumulative alterations of p27Kip1-related cell-cycle regulators in the development of endometriosis-associated ovarian clear cell adenocarcinoma. | Sohei Yamamoto, Hitoshi Tsuda, Kosuke Miyai, Masashi Takano, Seiichi Tamai, Osamu Matsubara | 産科婦人科 |
| The FASEB Journal 24(5):P1541-1551, 2010. 05 | Silencing of the JNK pathway maintains progesterone receptor activity in decidualizing human endometrial stromal cells exposed to oxidative stress signals | Beatriz Leitao, Marius C. Jones, Luca Fusi, Jenny Higham, Yun Lee, Masashi Takano, Tomoko Goto, Mark Christian, Eric W.-F. Lam, Jan J. Brosens | 産科婦人科 |
| 映像情報メディカル, 42(5):P508-511, 2010. 05 | 胎児画像診断: 3D技術の臨床応用 | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| International Journal of Clinical Oncology 15(2):P224-225, 2010. 04 | Indispensability of UGT1A1*6 genotyping in Japanese cancer patients treated with irinotecan. | Masashi Takano, Masafumi Kato, Yoshikawa Tomoyuki, Tomoko Goto, Kenichi Furuya, Yoshihiro Kikuchi | 産科婦人科 |
| Journal of Clinical Oncology 28(10):P1727-1732, 2010. 04 | Outcomes of Fertility-Sparing Surgery for Stage I Epithelial Ovarian Cancer: A Proposal for Patient Selection | Toyomi Satoh, Masayuki Hatae, Yuh Watanabe, Noboru Yaegashi, Osamu Ishiko, Shoji Kodama, Satoshi Yamaguchi, Kazunori Ochiai, Masashi Takano, Harushige Yokota, Yosuke Kawakami, Sadako Nishimura, Daiki Ogishima, Shunsuke Nakagawa, Hiroaki Kobayashi, Tanri Shiozawa, Toru Nakanishi, Toshiharu Kamura, Ikuo Konishi, Hiroyuki Yoshikawa | 産科婦人科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|-------|
| Reprinted from JMAJ 53(2):P91-95, 2010. 04 | Work Environment of Obstetricians and Gynecologists in Japan | Hideo Matsuda, Akihito Nakai, Tomoko Adachi, Masanobu Tanaka, Katsuyuki Kinoshita, Toshihiko Terao | 産科婦人科 |
| 臨床婦人科産科 64(6):P595-597, 2010. 04 | 産科における超音波診断—妊娠中・後期(胎 児の正常超音波像と形態異常3) 胸部の超音 波像—肺・胸部 | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| 臨床婦人科産科 64(6):P619-621, 2010. 04 | 産科における超音波診断—妊娠中・後期(胎 児の正常超音波像と形態異常7) 全身の異常 所見—胎児水腫・無心体 | 松田秀雄 | 産科婦人科 |
| 産婦人科救急のすべて 100(増刊):P213- 216, 2010. 04 | 癒着胎盤の手術 | 長谷川ゆり, 松田秀雄, 古 谷健一 | 産科婦人科 |
| 日本周産期・新生児医学会 雑誌 46(1):P27-31, 2010. 04 | 硬膜外麻酔併用児頭外回転術の有用性 | 吉田昌史, 松田秀雄, 川上 裕一, 長谷川ゆり, 吉永洋 輔, 浅井一彦, 川嶋章弘, 古谷健一 | 産科婦人科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|---|------|
| Diabetic Medicine :P1-1, 2011. 03 | Do type 2 diabetes patients without diabetic retinopathy or subjects with impaired fasting glucose have impaired colour vision? The Okubo Color Study Report | Takuhei Shoji, Yutaka Sakurai, Sato Hiroki, Etsuo Chihara, Masaru Takeuchi | 眼科 |
| Ophthalmology 118(3):P605-605, 2011. 03 | Phakic intraocular lens for keratoconus. | Kato N, Toda I, Hori-Komai Y, Sakai C, Arai H, Tsubota K | 眼科 |
| Investigative Ophthalmology & Visual Science 52(2):P1098-1102, 2011. 02 | Assessment of Glaucomatous Changes in Subjects with High Myopia Using Spectral Domain Optical Coherence Tomography | Shoji Takuhei, Sato Hiroki, Ishida Masahiro, Masaru Takeuchi, Etsuo Chihara | 眼科 |
| 東京医科大学雑誌 69(1):P121-122, 2011. 01 | 間葉系幹細胞を用いた実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎の抑制 | 中川迅, 白井嘉彦, 奥貫陽子, 毛塚剛司, 竹内大, 後藤浩, 黒田雅彦 | 眼科 |
| 東京医科大学雑誌 68:P89-89, 2010. 12 | ヒトぶどう膜悪性黒色腫が樹状細胞に与える免疫学的な影響 | 馬 娟, 白井嘉彦, 竹内大, 毛塚剛司, 奥貫陽子, 張麗娜, 後藤浩 | 眼科 |
| Invest Ophthalmol Vis Sci. 51(10):P5099-5104, 2010. 10 | Expression and function of inducible costimulator on peripheral blood CD4+ T cells in Beh?et's patients with uveitis: a new activity marker? | Usui Y, Takeuchi, M., Yamakawa N, Takeuchi A, Kezuka T, Ma J, Matsuda R, Okunuki Y, Akiba H, Goto H | 眼科 |
| Exp Eye Res. 91(4):P491-499, 2010. 10 | Human uveal melanoma cells inhibit the immunostimulatory function of dendritic cells. | Ma J, Usui Y, Takeuchi, M., Okunuki Y, Kezuka T, Zhang L, Mizota A, Goto H | 眼科 |
| Am J Ophthalmol 150(4):P481-489, 2010. 10 | Topography-guided conductive keratoplasty: treatment for advanced keratoconus. | N Kato, S Shimmura, T Kawakita, H Miyashita, S Yoshida, K Tsubota | 眼科 |
| 眼科臨床紀要 3(10):P1010-1010, 2010. 10 | 加齢黄斑変性の前房内サイトカイン濃度 | 阿川毅, 白井嘉彦, 若林美宏, 奥貫陽子, 山内康行, 毛塚剛司, 竹内大, 後藤浩 | 眼科 |
| 臨床眼科 64(9):P1573-1577, 2010. 09 | 出血性網膜剥離をきたしたperipheral exudative hemorrhagic chorioretinopathy | 高山圭, 佐藤孝樹, 石崎英介, 南政宏, 植木麻理 | 眼科 |
| あたらしい眼科 27(9):P1233-1234, 2010. 09 | 眼内レンズセミナー 一過性糖尿病白内障 | 高山圭, 池田恒彦 | 眼科 |
| Invest Ophthalmol Vis Sci 51(8):P4337-4345, 2010. 08 | Phototoxicity of indocyanine green under continuous fluorescent lamp illumination and its prevention by blocking red light on cultured M?ller cells | Tomohito Sato, Masataka Ito, Masahiro Ishida, Yoko Karasawa | 眼科 |
| 眼科臨床紀要 3(7):P719-719, 2010. 07 | 水晶体混濁が可逆性であった糖尿病白内障の1例 | 高山圭, 石崎英介, 中泉教子, 佐藤孝樹, 南政宏, 植木麻理, 池田恒彦 | 眼科 |
| 臨床眼科 64(7):P1183-1186, 2010. 07 | 網膜中心静脈閉塞症に対するペバシズマブ硝子体内投与 | 川上摂子, 若林美宏, 片井直達, 阿川毅, 馬詰和比古, 竹内大, 後藤浩 | 眼科 |
| 東京医科大学雑誌 68:P119-119, 2010. 06 | Bevacizumab硝子体投与前後の前房内サイトカインの解析 | 阿川毅, 白井嘉彦, 若林美宏, 奥貫陽子, 毛塚剛司, 竹内大, 山内康行, 後藤浩 | 眼科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|------|
| 東京医科大学雑誌 68:P92-92, 2010. 06 | Foxp3+制御性T細胞を介したテトラクロロダイオキシン類投与による実験的自己免疫性ぶどう膜炎の抑制 | 張麗娜, 馬 娟, 竹内大, 山川直之, 白井嘉彦, 服部貴明, 奥貫陽子, 毛塚剛司, 後藤浩, 黒田雅彦 | 眼科 |
| Investigative Ophthalmology and Visual Science 51(6):P3067-3075, 2010. 06 | Immune responses to interphotoreceptor retinoid-binding protein and S-antigen in Behcet's patients with uveitis. | Takeuchi, M., Usui Y, Okunuki Y, Zhang L, Ma J, Yamakawa N, Hattori T, Kezuka T, Sakai J, Goto H | 眼科 |
| 眼科 52:P3-15, 2010. 06 | ぶどう膜炎の展望 2008年度 | 竹内大 | 眼科 |
| 東京医科大学雑誌 68:P89-89, 2010. 06 | ヒトにおける網膜特異抗原の免疫原性解析 | 竹内大, 白井嘉彦, 奥貫陽子, 山川直之, 馬 娟, 毛塚剛司, 坂井潤一, 後藤浩 | 眼科 |
| Investigative Ophthalmology and Visual Science 51(4):P2529-2536, 2010. 04 | Suppression of bystander T helper 1 cells by iris pigment epithelium-inducing regulatory T cells via negative costimulatory signals. | Sugita S, Horie S, Yamada Y, Keino H, Usui Y, Takeuchi, M., Mochizuki M | 眼科 |
| Investigative Ophthalmology and Visual Science 51(4):P2109-2117, 2010. 04 | Suppression of experimental autoimmune uveoretinitis by inducing differentiation of regulatory T cells via activation of aryl hydrocarbon receptor. | Zhang L, Ma J, Takeuchi, M., Usui Y, Hattori T, Okunuki Y, Yamakawa N, Kezuka T, Kuroda M, Goto H | 眼科 |
| 東京医科大学雑誌 68(4):P467-467, 2010. 04 | マウス脈絡膜新生血管モデルに対するCD40の関与 | 横井克俊, 奥貫陽子, 馬詰和比古, 服部貴明, 白井嘉彦, 山川直之, 竹内大, 後藤浩, 秋葉久弥 | 眼科 |
| あたらしい眼科 27(4):P539-543, 2010. 04 | 急性網膜壊死患者における網膜神経線維層厚と乳頭形状の検討 | 白井嘉彦, 毛塚剛司, 竹内大, 奥貫陽子, 後藤浩 | 眼科 |
| あたらしい眼科 27:P59-60, 2010. 04 | 眼感染アレルギーセミナー 感染症と生体防御 急性後極部多発性斑状色素上皮症 | 竹内大 | 眼科 |
| 日本眼科学会雑誌 114(4):P362-368, 2010. 04 | 硝子体手術を施工した急性網膜壊死(桐沢型ぶどう膜炎)52例の検討 | 白井嘉彦, 竹内大, 山内康行, 毛塚剛司, 奥貫陽子, 森秀樹, 坂井潤一, 後藤浩 | 眼科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|---------|
| [厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業]ステロイド依存性感音難聴の新しい診断方法および診断基準に関する検討平成22年度総括・分担研究報告書 :P40-41, 2011. 03 | 防衛医科大学校におけるステロイド依存性感音難聴症例 | 松延毅, 栗田 昭宏 | 耳鼻いんこう科 |
| Otolaryngol Head Neck Surg 144(2):P288-289, 2011. 02 | Transoral videolaryngoscopic surgery for en bloc resection of supraglottic and hypopharyngeal cancers. | Shiotani A, Tomifuji M, KOJI Araki, Yamashita T | 耳鼻いんこう科 |
| Ann Surg Oncol 18(2):P490-496, 2011. 02 | Tumor depth as a predictor of lymph node metastasis of supraglottic and hypopharyngeal cancers. | Tomifuji M, Imanishi Y, KOJI Araki, Yamashita T, Yamamoto S, Kameyama K, Shiotani A | 耳鼻いんこう科 |
| Br J Cancer 103(12):P1822-1830, 2010. 12 | Molecular disruption of NBS1 with targeted gene delivery enhances chemosensitisation in head and neck cancer. | KOJI Araki, Yamashita T, Reddy N, Wang H, Abuzeid WM, Khan K, O'Malley BW Jr, Li D | 耳鼻いんこう科 |
| Head Neck 29:P1-1, 2010. 11 | Endoscopic transoral oropharyngectomy using laparoscopic surgical instruments. | Yamashita T, Tomifuji M, KOJI Araki, Kurioka T, Shiotani A | 耳鼻いんこう科 |
| 小児科臨床 63(10):P2157-2160, 2010. 10 | 長期間停留していたと考えられた小児気管異物の1例 | 羽生昇, 山下拓, 斉藤秀行 | 耳鼻いんこう科 |
| Otol Neurotol. 31(7):P1115-1121, 2010. 09 | A controlled and sustained local gentamicin delivery system for inner ear applications. | Xu L, Heldrich J, Wang H, Yamashita T, Miyamoto S, Li A, Uboh CE, You Y, Bigelow D, Ruckenstein M, O'Malley B, Li D | 耳鼻いんこう科 |
| 喉頭 22(1):P1-4, 2010. 06 | 気管支鏡を用いた咽喉頭癌の診断 | 佐藤大, 富藤 雅之, 上出 大介, 田村敦, 塩谷 彰浩 | 耳鼻いんこう科 |
| J Altern Complem Med 16(4):P427-433, 2010. 04 | Traditional Chinese medicine for treatment of laryngeal papillomatosis | Okubo K, Saito K, Fukuda H, Watanabe K, Ogawa K, Shiotani A | 耳鼻いんこう科 |
| Ann Otol Rhino Laryngol 119(4):P225-232, 2010. 04 | Videolaryngoscopic transoral en bloc resection of supraglottic and hypopharyngeal cancers using laparoscopic surgical instruments | Shiotani A, Tomifuji M, KOJI Araki, Yamashita T, Saito K | 耳鼻いんこう科 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 82(5):P241-248, 2010. 04 | 【耳鼻咽喉科・頭頸部外科の検査マニュアル 方法・結果とその解釈】 声の検査 喉頭ストロボスコーピー | 荒木幸仁, 塩谷 彰浩 | 耳鼻いんこう科 |
| 日本気管食道科学会会報 61(2):P160-167, 2010. 04 | 内視鏡診断と内視鏡手術 声門上癌、下咽頭癌に対する経口的喉頭・下咽頭部分切除術 | 富藤 雅之, 荒木幸仁, 山下拓, 松延毅, 栗田 昭宏, 上出大介, 佐藤大, 塩谷 彰浩 | 耳鼻いんこう科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|------|
| Int J Cardiovasc Imaging 2011.02 | Reduced exposure using asymmetric cone beam processing for wide area detector cardiac CT | Bedayat A, Rybicki FJ, Kumamaru K, Powers SL, Signorelli J, Steigner ML, Steveson C, Soga Shigeyoshi, Adams K, Mitsouras D, Clouse M, Mather RT | 放射線科 |
| FBNews 409:P2-6, 2011.01 | #U99#URMo/#U99m#URToの安定供給とSPECT検査の将来を考える | 小須田茂 | 放射線科 |
| Int J Hematol. 93(1):P129-131, 2011.01 | Prospective study of combination therapy with low-dose thalidomide plus prednisolone ameliorating cytopenia in primary myelofibrosis. | Hattori Y, Miyakawa Y, Yokoyama K, Yamada T, Du W, Jinzaki M, Shinmoto Hiroshi, Okamoto S | 放射線科 |
| 日本旅行医学会学会誌 8(1):P83-86, 2010.12 | 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)の診断と治療について | 林克己 | 放射線科 |
| RADIOISOTOPES 59:P541-547, 2010.09 | Effectiveness of #U131#URI nor-cholesterol Uptake per Unit Volume of Adrenal Adenoma in the Diagnosis of Aldosteronoma | 喜多保, 富田浩子, 坂口千春, 矢野文月, 塩見英佑, 川内利夫, 林克己, 中井完治, 新本弘, 小須田茂 | 放射線科 |
| 泌尿器科紀要 56(10):P543-549, 2010.09 | 腎癌肝転移に対するSMANCS/Lipiodol動注療法の実験 | 梅田俊, 伊藤敬一, 高橋英二, 木村文宏, 住友誠, 加地辰美, 早川正道, 浅野友彦 | 放射線科 |
| Cardiovascular Interventional Radiology 33:P874-876, 2010.08 | Selective CT Angiography and Embolization of the Inferior Mesenteric Artery for Massive Bladder Hemorrhage Secondary to Locally Advanced Prostate Cancer(前立腺がん浸潤による膀胱出血に対する選択的CT血管造影と下腸間膜動脈塞栓術) | Yukihiro Hama, Yoshie Iwasaki, Tatsumi Kaji | 放射線科 |
| Progress in Medicine 30(6):P1773-1776, 2010.06 | 症候性頭蓋内動脈狭窄に対するシロスタゾール(プレターール)の使用経験 | 中井完治, 長田秀夫, 藤井和也, 都築伸介, 苗代弘, 加地辰美 | 放射線科 |
| Circulation 121:P1778-1779, 2010.04 | Bilateral Rectus Sheath Hematoma Developing During Anticoagulant Therapy | yoshitake yamada, kenji ogawa, Eisuke Shiomi, takeharu hayashi | 放射線科 |
| 新医療 43:P21-25, 2010.04 | DPC導入施設におけるMRIがもたらす経営的影響を考える | 小須田茂 | 放射線科 |
| RADIOISOTOPES 59:P541-547, 2010.04 | Effectiveness of 131I nor-cholesterol Uptake per Unit Volume of Adrenal Adenoma in the Diagnosis of Aldosteronoma | Tamotsu Kita, Hiroko Tomita, Chiharu Sakaguchi, Fuzuki Yano, Eisuke Shiomi, Toshio Kawauchi, Katsumi Hayashi, Kanji Nakai, Hiroshi Shinmoto, Shigeru Kosuda | 放射線科 |
| RADIOISOTOPES 59:P173-177, 2010.04 | IgG4-associated multifocal systemic fibrosis detected by cancer screening with #U18#URF-FDG positron emission tomography/computed tomography. | Shigeyoshi Soga, Tamotsu Kita, Miyuki Hiratsuka, Chiharu Sakaguchi, Hiroshi Shinmoto, Shigeru Kosuda, Ikuko Sakata, Soichiro Miura | 放射線科 |
| Annals of Nuclear Medicine 24:P319-323, 2010.04 | Questionnaire survey of hospitals in Saitama Prefecture regarding the shortage of #U99m#URTo-labeled radiopharmaceuticals and #U99#URMo/#U99m#URTo generators | Shigeru Kosuda, Tamotsu Kita, Katsumi Koike, Takashi Arai | 放射線科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|------|
| RADIOISOTOPES 59:P329-339, 2010. 04 | テクネチウム-99m供給不足事態における #U99#URMo/#U99m#URTcジェネレータの重要性と核医学展望-核医学専門医の立場から. | 小須田茂 | 放射線科 |
| 臨床核医学 43:P21-25, 2010. 04 | ビスフォスフォネートによる下顎骨骨壊死 の下顎骨SPECT/CTの融合画像. | 河野正志, 富田浩子, 喜多保, 林克己, 小須田茂, 中島純子, 佐藤泰則 | 放射線科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|--------|
| Journal of Biomedical Materials Research. Part B Applied Biomaterials 92B(2):P234-241, 2011. 02 | Increased survival of free fat grafts and vascularization in rats with local delivery of fragmin/protamine microparticles containing FGF-2 (F/P MP-F) | Sinichirou Nakamura, Masayuki Ishihara, Megumi Takikawa, Kaoru Murakami, Satoko Kishimoto, Shingo Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Yasutaka Mori, Masanori Fujita, Satoshi Kubo, Naoto Yamamoto, Tomoharu Kiyosawa | 歯科口腔外科 |
| 日本口腔診断学会雑誌 24(1):P104-109, 2011. 02 | 疼痛を主訴とした壊死性唾液腺化生の1例 | 中島純子, 佐藤泰則, 羽田朱里, 渡邊伸也, 横江秀隆 | 歯科口腔外科 |
| Hosp. Dent. (Tokyo) 22(2):P203-206, 2010. 12 | Clinical Experience Using A Combination of PGA Sheet and Spraying of Fibrin Glue to Cover Partial Resection of Tongue Carcinoma | Sato Yasunori, Watanabe shinya, Murakami Kaoru, Yokoe Hidetaka, Shuri Hada, Nakajima Junko | 歯科口腔外科 |
| Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 22(4):P208-211, 2010. 11 | Mandibular metastasis from thyroid follicular carcinoma: A case report | Hidetaka Yokoe, Atushi Kasamatsu, Kenji Ogoshi, Katsunori Ogawara, Yosuke Endo-Sakamoto, Kanae Ono, Masashi Shiiba, Katsuhiro Uzawa, Yasunori Sato, Hideki Tanzawa | 歯科口腔外科 |
| Journal of Cancer Science & Therapy 6(2):P132-135, 2010. 11 | Neoadjuvant Chemotherapy with S-1 for patients with Oral Squamous Cell Carcinoma | Hidetaka Yokoe, Atsushi Kasamatsu, Katsunori Ogawara, Takashi Ishigami, Yasunori Sato, Masashi Shiiba, Hideki Tanzawa, Katsuhiro Uzawa | 歯科口腔外科 |
| Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 22(4):P205-207, 2010. 11 | Reduction and fixation of zygomatic complex fractures using a simple external device | Toshitaka Muto, Noritaka Yahara, Takafumi Hashiba | 歯科口腔外科 |
| 防衛衛生 57(10):P171-175, 2010. 10 | 気管カニューレ側孔からの肉芽組織侵入によりカニューレ抜去困難となった1例 | 横江秀隆, 渡邊伸也, 村上肇, 大塚壮一, 佐藤泰則 | 歯科口腔外科 |
| Wound Repair and Regeneration 18(5):P478-485, 2010. 09 | Enhanced healing of mytomicin C-treated healing-impaired wounds in rats with hydrosheets composed chitin/chitosan, fucoidan, and alginate as wound dressings. | Kaoru Murakami, Masayuki Ishihara, Shingo Nakamura, Sinichirou Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Megumi Takikawa, Satoko Kishimoto, Hidetaka Yokoe, Tomoharu Kiyosawa, Yasunori Sato | 歯科口腔外科 |
| Experimental and Therapeutic Medicine (1):P585-590, 2010. 08 | Alteration of extracellular superoxide dismutase expression is associated with an aggressive phenotype of oral squamous-cell carcinoma | Hidetaka Yokoe, Hitomi Nomura, Yukio Yamano, Kazuaki Fushimi, Yosuke Sakamoto, Katsunori Ogawara, Masashi Shiiba, Hiroki Bukawa, Katsuhiro Uzawa, Yuichi Tkiguchi, Hideki Tanzawa | 歯科口腔外科 |
| Annals of Plastic Surgery 65(1):P101-106, 2010. 07 | Platelet-rich plasma (PRP) promotes survival of fat-grafts in rats. | Sinichirou Nakamura, Masayuki Ishihara, Megumi Takikawa, Kaoru Murakami, Satoko Kishimoto, Shingo Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Satoshi Kubo, Naoto Yamamoto, Tomoharu Kiyosawa | 歯科口腔外科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---|--------|
| Journal of the National Defense Medical College 35(2):P88-97, 2010. 06 | High +Gz force causes cardiac microinjuries in rats without anti-G protection | 真鍋知子, 丸山聡, 高畑智文, 東海林一郎, 市来やよい, 中西邦昭, 煙山健仁, 太田宏之, 櫻井裕, 西田育弘 | 歯科口腔外科 |
| 口腔顎顔面外傷 9(1):P10-14, 2010. 06 | 千葉大学病院歯・顎・口腔外科における過去30年間の頬骨骨折患者の臨床統計的観察 | 笠松厚志, 薄倉勝也, 椎葉正史, 大和地正信, 山野由紀男, 坂本洋右, 小野可苗, 小河原克訓, 横江秀隆, 鶴澤一弘, 佐藤泰則, 丹沢秀樹 | 歯科口腔外科 |
| 臨床核医学 43:P21-25, 2010. 04 | ビスフォスフォネートによる下顎骨骨壊死の下顎骨SPECT/CTの融合画像. | 河野正志, 富田浩子, 喜多保, 林克己, 小須田茂, 中島純子, 佐藤泰則 | 歯科口腔外科 |
| 有病者歯科医療 19(1):P13-18, 2010. 04 | 舌癌術後リンパ節転移をきたし頸部廓清術を行った透析患者の1例 | 渡邊伸也, 中島純子, 村上馨, 羽田朱里, 横江秀隆, 佐藤泰則 | 歯科口腔外科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|--|------|
| 平成22年度 衝撃波シンポジウム講演論文集 :P329-332, 2011. 03 | 衝撃波の生体に及ぼす影響：胸部爆風傷における肺胞壁破壊のメカニズム | 徳野慎一, 佐藤俊一, 佐藤泰司, 齋藤大蔵, 中山昌喜, 妻鳥元太郎, 中山良男, 大野友則, 水書稔治 | 麻酔科 |
| Journal of Anesthesia 25(1):P72-77, 2011. 02 | Awareness during anesthesia: the results of a questionnaire survey in Japan | Morimoto Yasuhiro, Nogami Yuko, Harada Kaori, Tsubokawa Tsunehisa, Masui Kenichi | 麻酔科 |
| British Journal of Anaesthesia 106(2):P208-214, 2011. 02 | Effect of remifentanyl on plasma propofol concentration and bispectral index during propofol anaesthesia | Yufune Shinya, Takamatsu Isao, Masui Kenichi, Kazama Tomiei | 麻酔科 |
| Journal of Neuroscience 31(3):P1149-1155, 2011. 01 | Deletion of ERK1 and ERK2 in the CNS causes cortical abnormalities and neonatal lethality: Erk1 deficiency enhances the impairment of neurogenesis in Erk2-deficient mice | Yasushi Satoh, Yasushi Kobayashi, Gilles Pages, Jacques Pouyssegur, Kazama Tomiei | 麻酔科 |
| Proc. SPIE 7897:P78971V-7 pages, 2011. 01 | Traumatic brain injury caused by laser-induced shock wave in rats: a novel laboratory model for studying blast-induced traumatic brain injury, roc. | Ben Hatano, Yoshihisa Matsumoto, Naoki Otani, Daizoh Saitoh, Shinichi Tokuno, Yasushi Satoh, Hiroshi Nawashiro, Yoshitaro Matsushita, Shunichi Sato | 麻酔科 |
| Veterinary Anaesthesia and Analgesia 37(6):P501-510, 2010. 11 | Hypnotic effects and pharmacokinetics of a single bolus dose of propofol in Japanese macaques (<i>Macaca fuscata fuscata</i>) | Miyabe-Nishiwaki Takako, Masui Kenichi, Kaneko Akihisa, Nishiwaki Koki, Shimbo Etsuko, Kanazawa Hideko | 麻酔科 |
| Neuroscience Research 68(3):P232-240, 2010. 11 | Transient degradation of myelin basic protein in the rat hippocampus following acute carbon monoxide poisoning | Satoru Watanabe, Hirotaka Matsuo, Yasushi Kobayashi, Yasushi Satoh, Masanori Fujita, Akiyoshi Nakayama, Yoshifusa Aizawa, Nariyoshi Shinomiya, Shinya Suzuki | 麻酔科 |
| ANESTHESIA & ANALGESIA 111(4):P1051-1058, 2010. 10 | The Effect of Ketamine Anesthesia on the Immune Function on Mice with Postoperative Septicemia | Takahashi Tetsuya, Manabu Kinoshita, Satoshi Shono, Yoshiko Habu, Ogura Takahiro, SekiShuhji, Kazama Tomiei | 麻酔科 |
| STEM CELLS 28(9):P1660-1672, 2010. 09 | FRS2 α Regulates Erk Levels to Control a Self-Renewal Target Hes1 and Proliferation of FGF-Responsive Neural Stem/Progenitor Cells | Takuya Sato, Takuya Shimazaki, Hayato Naka, Shin-Ichi Fukami, Yasushi Satoh, Hideyuki Okano, Irit Lax, Joseph Schlessinger, Noriko Gotoh | 麻酔科 |
| 生体の科学 61(5):P460-461, 2010. 09 | シナプスにおける ERK シグナリングの役割 | 佐藤泰司, 遠藤正吾 | 麻酔科 |
| 生体の科学 61(5):P462-463, 2010. 09 | 神経系における MEK1/2の機能 | 佐藤泰司, 遠藤正吾 | 麻酔科 |
| Anesth Analg. 111(2):P368-379, 2010, 08 | The performance of compartmental and physiologically based recirculatory pharmacokinetic models for propofol: a comparison using bolus, continuous, and target-controlled infusion data. | Masui Kenichi, Upton RN, Doufas AG, Coetzee JF, Kazama Tomiei, Mortier EP, Struys MM | 麻酔科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|------|
| Neurosurg Anesthesiol 22(3):P230-239, 2010. 07 | Effect of a Short-acting β 1 Receptor Antagonist Landiolol on Hemodynamics and Tissue Injury Markers in Patients With Subarachnoid Hemorrhage Undergoing Intracranial Aneurysm Surgery | Kawaguchi Masahiko, Utada Kouji, Yoshitani Kenji, Uchida Hiroyuki, Takeda Yoshimasa, Masui Kenichi, Sakabe Takefumi | 麻酔科 |
| 麻酔 59(7):P918-921, 2010. 07 | 穿通胎盤合併妊娠の帝王切開の麻酔管理 | 北井由美子, 零石 正明, 福田功, 松田秀雄, 風間富栄 | 麻酔科 |

計14

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|--|------|
| Journal of the National Defense Medical College 36(1):P8-14, 2011. 03 | Detection of bacteria on central venous catheters in a trauma care unit (prospective study) | 西川可穂子, 高須朗, 西紘一郎, 津守秀明, 阪本敏久 | 救急部 |
| Resuscitation 82(1):P110-114, 2011. 01 | Effects of arterial oxygen content on oxidative stress during resuscitation in a rat hemorrhagic shock model | Takasu Akira, Minori Shibata, Shinya Uchino, Nishi Koichiro, Yorihiro Yamamoto, Sakamoto Toshihisa | 救急部 |
| Neurosurgical Emergency 15(1):P25-30, 2010. 08 | 2007年における所沢市で救急搬送となった脳梗塞症例の現状 | 柳川洋一, 小山和夫, 大河原治平, 加藤裕, 北秀幸, 苗代弘, 島克司, 阪本敏久 | 救急部 |
| Clinical Toxicol (Phila) 48(8):P851-853, 2010. 08 | Two cases of acute poisoning with acetaminiprid in humans | 今村友典, 柳川洋一, 西川可穂子, Naoto Matsumoto, 阪本敏久 | 救急部 |
| Am J Emerg Med 28(5):P646-646, 2010. 06 | A case of cerebral amyloid angiopathy mimicking diffuse axonal injury. | Yanagawa Youichi, Imamura T, Iwamoto S | 救急部 |
| J Emerg Med. 2010 Jul 13, 2010. 06 | Acute Myocardial Infarction Presenting with Pharyngeal Pain Alone. | Yanagawa Youichi, Nishimura M, Ohkawara J, Hasegawa K, Yamane M | 救急部 |
| Am J Emerg Med 28(6):P703-707, 2010. 06 | Relationship between abnormal pupillary reactivity and the outcome of a psychotropic drug overdose. | Yanagawa Youichi, Miyazaki M, Sakamoto T | 救急部 |
| Wound Repair Regen. 18(3):P284-290, 2010. 05 | Photoacoustic monitoring of granulation tissue grown in a grafted artificial dermis on rat skin. | 畑中公輔, Shunichi Sato, Daizoh Saitoh, Hiroshi Ashida, Toshihisa Sakamoto | 救急部 |
| 防衛衛生 57(4):P89-93, 2010. 05 | 脊椎・椎間板炎、腸腰筋膿瘍に腎癌の合併を認めた一例 | 今村友典, 柳川洋一, 井上雅博, 飯塚康博, 阪本敏久 | 救急部 |
| SPIE 7564:P75641C-75641C, 2010. 04 | Photoacoustic diagnosis of edema in rat burned skin. | Ken Yoshida, Shunichi Sato, 畑中公輔, Daizoh Saitoh, Hiroshi Ashida, Toshihisa Sakamoto, Minoru Obara | 救急部 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|------|
| Journal of Biomedical Materials Research. Part B Applied Biomaterials 96B(2):P234-241, 2011. 02 | Increased survival of free fat grafts and vascularization in rats with local delivery of fragmin/protamine microparticles containing FGF-2 (F/P MP-F) | Sinichirou Nakamura, Masayuki Ishihara, Megumi Takikawa, Kaoru Murakami, Satoko Kishimoto, Shingo Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Yasutaka Mori, Masanori Fujita, Satoshi Kubo, Naoto Yamamoto, Tomoharu Kiyosawa | 形成外科 |
| 形成外科 53:PS48-S48, 2010. 10 | 木村氏病 | 清澤智晴 | 形成外科 |
| 形成外科 53:PS47-S47, 2010, 10 | 神経線維腫症 | 清澤智晴 | 形成外科 |
| SKIN SURGERY 19(3):P137-141, 2010. 10 | 陰茎絞扼症 金属製リングおよび陰圧式勃起補助器具による各1例 | 堂本隆志, 遠藤隆志, 富樫真二, 足立孝二, 関堂充 | 形成外科 |
| Wound Repair and Regeneration 18(5):P478-485, 2010. 09 | Enhanced healing of mytomycin C-treated healing-impaired wounds in rats with hydrosheets composed chitin/chitosan, fucoidan, and alginate as wound dressings. | Kaoru Murakami, Masayuki Ishihara, Shingo Nakamura, Sinichirou Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Megumi Takikawa, Satoko Kishimoto, Hidetaka Yokoe, Tomoharu Kiyosawa, Yasunori Sato | 形成外科 |
| 日本頭蓋顎顔面外科学会誌 26(3):P316-321, 2010. 09 | 多重癌を呈した鼻NK/T細胞リンパ腫の1例 | 柳林 聡, 石川勝也, 佐々木薫, 東隆一, 山本直人, 清澤智晴 | 形成外科 |
| Journal of Dermatology 37:P827-829, 2010. 08 | Clinical efficacy of reserpine as "add-on therapy" to antihistamines in patients with recalcitrant chronic idiopathic urticaria and urticarial vasculitis | Toshio DEMITSU, Kozo YONEDA, Maki KAKURAI, Kaoru SASAKI, Yu-ichiro HIRATSUKA, Ryuichi Azuma, Tomoko YAMADA, Naoka UMEMOTO | 形成外科 |
| 泌尿器科紀要 56(8):P463-465, 2010. 08 | 性的成熟期の女性に発症した陰唇癒着症の1例 | 辻田裕二郎, 朝隈純一, 神原太樹, 吉井貴彦, 東隆一, 住友誠, 浅野友彦 | 形成外科 |
| Annals of Plastic Surgery 65(1):P101-106, 2010. 07 | Platelet-rich plasma (PRP) promotes survival of fat-grafts in rats. | Sinichirou Nakamura, Masayuki Ishihara, Megumi Takikawa, Kaoru Murakami, Satoko Kishimoto, Shingo Nakamura, Satoshi Yanagibayashi, Satoshi Kubo, Naoto Yamamoto, Tomoharu Kiyosawa | 形成外科 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---------------------------------------|-----------------------------|--|------|
| 形成外科 53(7):P721-726, 2010.07 | 母斑の成因と分類 | 清澤智晴 | 形成外科 |
| SKIN SURGERY 19(2):P83-86, 2010.06 | 陳旧性顔面神経麻痺に対する上顎骨骨膜弁による静的再建術 | 吉田龍一, 泉彰典, 久保諭, 鷺見友紀, 石川勝也, 佐々木薫, 瀧川恵美, 中村真一郎, 柳林 聡, 東隆一, 山本直人, 清澤智晴 | 形成外科 |

計11

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|---|----------------|
| 末梢神経 21(2):P313-314, 2010.12 | 丸文字訓練で書字が短時間可能になった書 癩患者の一例 | 有野浩司, 三澤里織, 椎名 義明, 小林 龍生, 尼子雅 敏, 根本孝一 | リハビリテーション 部 |
| 防衛衛生 57(6,7):P111-114, 2010.07 | 陳旧性膝蓋腱断裂の一例 | 桑久保正利, 三尾健介, 金 子大毅, 小林 龍生, 瀧川 真人, 佐々尾宙, 根本孝一 | リハビリテーション 部 |
| JOSKAS 35(1):P146-147, 2010.04 | MRIを用いた膝蓋大腿関節のアライメント評 価ソフトウェアの開発 | 小林 龍生, 脇坂仁, 三尾 健介 | リハビリテーション 部 |
| 関東膝を語る会誌 26(1):P1-3, 2010.04 | 大腿骨内顆部骨壊死に脛骨内顆部の脆弱性 骨折を合併した1例 | 加藤貴志, 三尾健介, 金子 大毅, 松川啓太朗, 小林 龍生, 中谷創, 藤木崇史, 根本孝一 | リハビリテーション 部 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---|------|
| Lung Cancer 71(2):P199-204, 2011. 02 | A pilot study of mRNA expressions of 5-fluorouracil pathway genes in peripheral blood mononuclear cells and tumor tissues in patients with lung adenocarcinoma. | Sho Ogata, Ozeki Yuichi, Kuniaki Nakanishi, Yoshinobu Fujita, Fumihiko Tanaka, Seiki Hasegawa, Tadashi Mio, Hiromi Wada, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Katsuyuki Takeuchi, Toshiaki Kawai | 検査部 |
| Pathology International 61(2):P104-107, 2011. 02 | Duodenal gangliocytic paraganglioma with regional lymph-node metastasis and a glandular component. | Sho Ogata, Takuya Horio, Yoshiaki Sugiura, Satoshi Aiko, Shinsuke Aida | 検査部 |
| Shock 25(2):P1-7, 2011. 02 | 合成CRPの致死的重症感染症に対する予後改善効果—クッパー細胞の貧食能亢進効果と炎症性サイトカイン抑制効果— | 木下学, 小野聡, 稲津昭仁, 佐藤厚志, 平木修一, 高畑りさ, 辻本広紀, 齋藤大蔵, 関修司 | 検査部 |
| Acta Medica Okayama 64(6):P407-410, 2010. 12 | Sarcoidosis-associated hepatocellular carcinoma | Sho Ogata, Takuya Horio, Yoshiaki Sugiura, Shimazaki Hideyuki, Hiroki Saito, Satoshi Aiko, Kuniaki Nakanishi, Toshiaki Kawai | 検査部 |
| 子宮筋層病変生検研究会誌 10(1):P4-5, 2010. 11 | 婦人科悪性腫瘍の診断における針生検の有用性と限界について(第2報) | 宮本守員, 笹秀典, 渡邊昭夫, 吉川智之, 加藤雅史, 後藤友子, 高野政志, 相田真介, 古谷健一 | 検査部 |
| BJU International 106(6):P873-878, 2010. 09 | Glucose-related protein 78 expression in urothelial carcinoma of the upper urinary tract. | Kenji Uematsu, Sho Ogata, Kuniaki Nakanishi, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Toshiaki Kawai | 検査部 |
| Cancer Science 101(9):P1970-1976, 2010. 09 | Protein overexpression and gene amplification of epidermal growth factor receptor in adult testicular germ cell tumors: potential role in tumor progression | Miyai Kosuke, Yamamoto Sohei, Asano Tomohiko, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu, Tsuda Hitoshi | 検査部 |
| Heart Vessels 25(5):P417-425, 2010. 09 | Severe, short-term food restriction improves cardiac function following ischemia/reperfusion in perfused rat hearts | Yamagishi Tadashi, Bessho Motoaki, Yanagida Shigeki, Nishizawa Kenya, Kusahara Masatoshi, Ohsuzu Fumitaka, Tamai Seiichi | 検査部 |
| 胸部外科 63(10):P911-914, 2010. 09 | 舌区の再発性炎症を契機に発見された気管支カルチノイドの1例 | 橋本 博史, 大鹿芳郎, 小原聖勇, 中岸義典, 田中聖子, 田中良昭, 佐藤仁哉, 松熊晋, 尾関雄一 | 検査部 |
| Pathol Intern 60:P566-574, 2010. 08 | Lymphohistiocytoid mesothelioma of pleura | Toshiaki Kawai, Sadayuki Hiroi, Kuniaki Nakanishi, Kiyoshi Takagawa, Reiji Haba, Kazuhiko Hayashi, Kae Kawachi, Akinori Nozawa, Akira Hebisawa, Yukio Nakatani | 検査部 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|--|------|
| American Journal of Clinical Pathology 134:P312-322, 2010. 08 | Proposed Objective Criteria for "Grade 3" in Early Invasive Colorectal Cancer | Ueno Hideki, Hashiguchi Yojiro, Kajiwara Yoshiki, Shinto Eiji, Shimazaki Hideyuki, Kurihara Hiroyuki, Mochizuki Hidetaka, Hase Kazuo | 検査部 |
| International Journal of Gynecological Pathology : official journal of the International Society of Gynecological Pathologists 29(4):P321-327, 2010. 07 | Massive intra-abdominal undifferentiated carcinoma derived from an endometrioid adenocarcinoma in a "normal-sized" ovary | Kosuke Miyai, Sohei Yamamoto, Shinsuke Aida, Hideyuki Shimazaki, Masashi Takano, Kazuya Kudoh, Kenichi Furuya, Seiichi Tamai, Osamu Matsubara | 検査部 |
| 病理技術 73(2):P54-57, 2010. 07 | ハイフロイド凍結標本の特殊染色並びに免疫染色への適応 | 広井禎之, 富永晋, 中西邦昭, 緒方衝, 榎本純也, 坂田輝子, 河合俊明 | 検査部 |
| Journal of the National Defense Medical College 35(2):P88-97, 2010. 06 | High +Gz force causes cardiac microinjuries in rats without anti-G protection | 真鍋知子, 丸山聡, 高畑智文, 東海林一郎, 市来やよい, 中西邦昭, 煙山健仁, 太田宏之, 櫻井裕, 西田育弘 | 検査部 |
| 胸部外科 63(5):P415-418, 2010. 05 | 手術および放射線治療が奏効した進行胸腺癌の1例 | 橋本 博史, 大鹿芳郎, 小原聖勇, 佐藤仁哉, 松熊晋, 田中良昭 | 検査部 |
| Lung Cancer 68(1):P58-65, 2010. 04 | LAT1 expression in non-small cell lung carcinomas: analyses by semiquantitative reverse transcription-PCR (237 cases) and immunohistochemistry (295 cases) | Katsuyuki Takeuchi, Sho Ogata, Kuniaki Nakanishi, Yuichi Ozeki, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Hirotaka Matsuo, Tsuneaki Sakata, Toshiaki Kawai | 検査部 |
| American Journal of Pathology 34(4):P454-462, 2010. 04 | Objective Criteria for the Grading of Venous Invasion in Colorectal Cancer | Sato Taichi, Ueno Hideki, Mochizuki Hidetaka, Shinto Eiji, Hashiguchi Yojiro, Kajiwara Yoshiki, Shimazaki Hideyuki, Hase Kazuo | 検査部 |
| Lasers in Surgery and Medicine 42(4):P313-318, 2010. 04 | Pulmonary blast injury in mice: a novel model for studying blast injury in the laboratory using laser-induced stress waves | Yasushi Satoh, Daizoh Saitoh, Shinichi Tokuno, Ben Hatano, Tadasuke Shimokawaji, Kobayashi Hideo, Kunio Takishima | 検査部 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|--|-------|
| Drug Delivery System 26(2):P148-154, 2011. 03 | “分かりやすい臨床試験” 統計学の基礎知識と解析ソフト | 中島聰總, 佐藤弘樹 | 医療情報部 |
| Diabetic Medicine :P1-1, 2011. 03 | Do type 2 diabetes patients without diabetic retinopathy or subjects with impaired fasting glucose have impaired colour vision? The Okubo Color Study Report | Takuhei Shoji, Yutaka Sakurai, Sato Hiroki, Etsuo Chihara, Masaru Takeuchi | 医療情報部 |
| Journal of Allergy and Clinical Immunology :P1-5, 2011. 03 | Quantification of κ -deleting recombination excision circles in Guthrie cards for the identification of early B-cell maturation defects | Nakagawa Noriko, Imai Kohsuke, Hirokazu Kanegane, Sato Hiroki, Masafumi Yamada, Kensuke Kondoh, Satoshi Okada, Masao Kobayashi, Kazunaga Agematsu, Hidetoshi Takada, Noriko Mitsuiki, Koichi Oshima, Osamu Ohara, Deepti Suri, Amit Rawat, Surjit Singh, Qiang Pan-Hammarstrom, Lennart Hammarstrom, Janine Reichenbach, Reinhard Seger, Tadashi Ariga, Toshiro Hara, Toshio Miyawaki, Shigeaki Nonoyama | 医療情報部 |
| Investigative Ophthalmology & Visual Science 52(2):P1098-1102, 2011. 02 | Assessment of Glaucomatous Changes in Subjects with High Myopia Using Spectral Domain Optical Coherence Tomography | Shoji Takuhei, Sato Hiroki, Ishida Masahiro, Masaru Takeuchi, Etsuo Chihara | 医療情報部 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--|-------|
| J Arrhythmia 26(3):P189-198, 2011. 03 | Characteristic Changes in Heart Rate Variability Induces during Hemorrhagic Shoch, and Effect of Liposome-Encapsulated Hemoglobin in Rats. | Yashiro Nogami, Bonpei Takase, Manabu Kinoshita, Satoshi Shono, Shinich Kaneda, Masayuki Ishihara, Makoto Kikuchi, Tadaaki Maehara | 集中治療部 |
| Annals of Biomedical Engineering 38(12):P3724-3732, 2010. 12 | Hemostasis for Severe Hemorrhage with Photocrosslinkable Chitosan Hydrogel and Calcium Alginate. | Hidemi Hattori, Yoshiko Amano, Yashiro Nogami, Bonpei Takase, Masayuki Ishihara | 集中治療部 |
| J Arrhythmia 26(4):P227-237, 2010. 12 | Role of Heart Rate Variability in Non-Invasive Electrophysiology:Prognostic Marker of Cardiovascular Disease | 高瀬凡平 | 集中治療部 |
| J Thorac Cardiovasc Surg 140(3):P624-632, 2010. 09 | Cardiac dysfunction induced by experimental myocardial infarction impairs the host defense response to bacterial infection in mice because of reduced phagocytosis of Kupffer cells. | Yashiro Nogami, Manabu Kinoshita, Bonpei Takase, Inatsu A, Masayuki Ishihara, Shuji Seki, Tadaaki Maehara | 集中治療部 |
| 循環器内科 67(6):P617-622, 2010. 06 | 心電図異常とMRI | 高瀬凡平 | 集中治療部 |
| Surgery Today 40(5):P451-455, 2010. 05 | Efficacy of peritoneal oxygenation using a novel artificial oxygen carrier (TRM-645) in a rat respiratory insufficiency model | Matsutani Noriyuki, Takase Bonpei, Nogami Yashiro, Ozeki Yuichi, Kaneda Shinichi, Maehara Tadaaki, Kikuchi Makoto, Ishihara Masayuki | 集中治療部 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---|------|
| Lung Cancer 71(2):P199-204, 2011. 02 | A pilot study of mRNA expressions of 5-fluorouracil pathway genes in peripheral blood mononuclear cells and tumor tissues in patients with lung adenocarcinoma. | Sho Ogata, Ozeki Yuichi, Kuniaki Nakanishi, Yoshinobu Fujita, Fumihiko Tanaka, Seiki Hasegawa, Tadashi Mio, Hiromi Wada, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Katsuyuki Takeuchi, Toshiaki Kawai | 臨床検査 |
| Pathology International 61(2):P104-107, 2011. 02 | Duodenal gangliocytic paraganglioma with regional lymph-node metastasis and a glandular component. | Sho Ogata, Takuya Horio, Yoshiaki Sugiura, Satoshi Aiko, Shinsuke Aida | 臨床検査 |
| Acta Medica Okayama 64(6):P407-410, 2010. 12 | Sarcoidosis-associated hepatocellular carcinoma | Sho Ogata, Takuya Horio, Yoshiaki Sugiura, Shimazaki Hideyuki, Hiroki Saito, Satoshi Aiko, Kuniaki Nakanishi, Toshiaki Kawai | 臨床検査 |
| PLoS ONE 5(9), 2010. 09 | Axonal-Transport-Mediated Gene Transduction in the Interior of Rat Bone | Toshitaka Okabayashi, Kuniaki Nakanishi, Toyokazu Tsuchihara, Hiroshi Arino, Yasuo Yoshihara, Susumu Tominaga, Maki Uenoyama, Shinya Suzuki, Masataka Asagiri, Koichi Nemoto | 臨床検査 |
| BJU International 106(6):P873-878, 2010. 09 | Glucose-related protein 78 expression in urothelial carcinoma of the upper urinary tract. | Kenji Uematsu, Sho Ogata, Kuniaki Nakanishi, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Toshiaki Kawai | 臨床検査 |
| Pathol Intern 60:P566-574, 2010. 08 | Lymphohistiocytoid mesothelioma of pleura | Toshiaki Kawai, Sadayuki Hiroi, Kuniaki Nakanishi, Kiyoshi Takagawa, Reiji Haba, Kazuhiko Hayashi, Kae Kawachi, Akinori Nozawa, Akira Hebisawa, Yukio Nakatani | 臨床検査 |
| Journal of Hepatology 53:P903-910, 2010. 07 | Characterization of two F4/80-positive Kupffer cell subsets by their function and phenotype in mice | Manabu Kinoshita, Uchida Takefumi, Atsushi Sato, Masahiro Nakashima, Hiroyuki Nakashima, Satoshi Shono, Yoshiko Habu, Hiromi Miyazaki, Sadayuki Hiroi, Shuji Seki | 臨床検査 |
| 病理技術 73(2):P54-57, 2010. 07 | ハイフロイド凍結標本の特殊染色並びに免疫染色への適応 | 広井禎之, 富永晋, 中西邦昭, 緒方衛, 榎本純也, 坂田輝子, 河合俊明 | 臨床検査 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--|------|
| Lung Cancer 68(1):P58-65, 2010.04 | LAT1 expression in non-small cell lung carcinomas: analyses by semiquantitative reverse transcription-PCR (237 cases) and immunohistochemistry (295 cases) | Katsuyuki Takeuchi, Sho Ogata, Kuniaki Nakanishi, Yuichi Ozeki, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Hirotaka Matsuo, Tsuneaki Sakata, Toshiaki Kawai | 臨床検査 |
| Acta physiologica 198(4):P431-440, 2010.04 | Protein kinase C mRNA and protein expressions in hypobaric hypoxia-induced cardiac hypertrophy in rats. | Uenoyama Maki, Ogata Sho, Nakanishi Kuniaki, Kanazawa F, Hiroi Sadayuki, Tominaga Susumu, Seo A, Matsui T, Kawai Toshiaki, Suzuki Shinya | 臨床検査 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|------|
| Clinical Engineering 21(5):P483-492, 2010. 04 | 体外循環を使用しない冠動脈バイパス術 (OPCAB)から体外循環への移行の安全な方法—福岡大学病院— | 伊藤信久, 田代 忠, 楠本剛, 比嘉和夫, 井上 清, 八尾好純, 濱田祐洋, 小川健作 | 材料部 |

計1

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | | | |
|---------|------------|--------------|--|
| 管理責任者氏名 | 病院長 望月 英隆 | | |
| 管理担当者氏名 | 庶務課長 田中 義春 | 医事課長 横山 雄一 | |
| | 薬剤部長 曾根原 亘 | 医療情報部長 塩谷 彰浩 | |

| | | 保管場所 | 分類方法 | |
|--|-----------------------------------|--|--|---------|
| 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | | 庶務課 医療情報部 薬剤部 手術部 看護部 | カルテ等の病歴資料は医療情報部で一括管理をしている。外来カルテは診療科ごと、入院カルテは入院期間ごとに作成され、電算機に登録管理されており、保存期間は10年である。 | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 庶務課 | 文書管理規則等に基づき、各担当課において、作成部署・文書分類番号・保存期間等を記入し管理している。 | |
| | 高度の医療の提供の実績 | 医事課 | | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 医事課 | | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 教務課 | | |
| | 閲覧実績 | 庶務課 | | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医事課 | | |
| | 入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 薬剤部 | | |
| | 一規則に第一号に掲げるものの第一項各号及び第九条の二十三第一項第一 | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | | 医療安全推進室 |
| | | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | | 医療安全推進室 |
| | | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | | 医療安全推進室 |
| | | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | | 医療安全推進室 |
| 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | | 医療安全推進室 | | |
| 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | | 感染対策室 | | |
| 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | | 医療安全推進室 | | |
| 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 医事課 | | | |

| | | 保管場所 | 分類方法 |
|---|--|---|-------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況 | 院内感染のための指針の策定状況 | 感染対策室 |
| | | 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 感染対策室 |
| | | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 感染対策室 |
| | | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 | 感染対策室 |
| | | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 薬剤部 |
| | | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 薬剤部 |
| | | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | 薬剤部 |
| | | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部 |
| | | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 材料部 |
| | | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 材料部 |
| 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | 材料部 | | |
| 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 材料部 | | |

文書管理規則等に基づき、各担当課において、作成部署・文書分類番号・保存期間等を記入し管理している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|----------------------------|
| 閲覧責任者氏名 | 病院長 望月 英隆 |
| 閲覧担当者氏名 | 各診療科部長 庶務課長 医事課長 薬剤部長 教務課長 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 病院第3会議室 |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | |
|-----------|--------|------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延 | 0件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 0件 |
| | 歯科医師 | 延 0件 |
| | 国 | 延 0件 |
| | 地方公共団体 | 延 0件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

| | | | |
|------|-----------------------|---------|-------------------------|
| 紹介率 | 69.5% | 算定期間 | 平成22年 4月 1日～平成23年 3月31日 |
| 算出根拠 | A：紹介患者の数 | 12,134人 | |
| | B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | 5,642人 | |
| | C：救急用自動車によって搬入された患者の数 | 3,046人 | |
| | D：初診の患者の数 | 24,319人 | |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの数の和をBとDの和で除した数に100を乗じて少数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

| | |
|--|---------------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有・無 |
| ・ 指針の主な内容： 安全管理システムの構築、医療従事者の研鑽、安全管理組織の充実、インシデントレポートの推進、医療事故発生時の対応方針、患者家族との情報交換、患者相談窓口の設置 | |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年 12 回 |
| ・ 活動の主な内容： (1) 病院内における安全管理のための指針の整備に関する事 (2) 病院内における安全管理のための医療事故の報告要領に関する事 (3) インシデント報告及びアクシデント報告に基づく医療事故防止に必要な方策の策定に関する事 (4) 医療事故発生時の対応要領に関する事 (5) 安全管理体制確保のために必要な職員の教育研修制度に関する事 | |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年 8 回 |
| ・ 研修の主な内容： (1) 情報共有と活用について～院内の医療安全推進のために～ (2) 安全対策プロジェクトチームの取り組み (3) 小委員会からの活動報告 (4) 採用時オリエンテーション | |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 合併症事例に係る報告の義務化 (2) 院内暴言・暴力に係る報告制度 (3) 安全対策プロジェクトチーム及び小委員会において改善策を検討 | |
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 有 (2 名) ・ 無 |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 有 (1 名) ・ 無 |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 有・無 |
| ・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (2) 名 ・ 活動の主な内容： (1) インシデント報告書の収集、分析、集計等を行うとともに再発防止を検討 (2) インシデント事例及び再発防止策の職員への周知・確認 (3) 医療安全に関する研修の企画立案及び実施 (4) 安全管理マニュアルの作成及び修正 | |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 有・無 |

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|-------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | 有・無 |
| <p>・ 指針の主な内容： 院内感染の未然防止、発生時の迅速適切な対処を定めた基本方針、感染対策委員会、感染対策室及び感染管理チームの設置、各診療科等の感染対策管理のための責任者の配置、感染対策マニュアルの整備、院内感染発生時の対処、各種報告の義務、職員研修の実施及び患者等との情報共有</p> | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年 12回 |
| <p>・ 活動の主な内容： (1) 院内感染対策に関すること (2) 院内感染管理体制に関すること (3) 集団発生するおそれのある感染症の対策に関すること</p> | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年 2回 |
| <p>・ 研修の主な内容： (1) チームで活動しよう！感染制御 (2) 医療関連感染対策における抗菌薬の適正使用 ～PK/PDから考える～</p> | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 携帯版の感染対策マニュアルを作成し全職員に配布、携帯を義務付 (2) イベント発生に即応した新型インフルエンザ、耐性菌に関する職員教育の実施 (3) ATP拭き取り検査器等を使用した実地指導の実施 (4) 反復したラウンドを実施し遵守状況を数値可視化</p> | |

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|-------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | (有)・無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年 7 回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 初任実務研修オリエンテーション教育・ 高等看護学院卒前研修・ 防衛医大病院におけるリスクマネジメント・ 麻薬の取扱いについて・ 麻薬施用者講習会・ 新任看護師教育・ 医学研究科オリエンテーション・ 情報の共有と活用について(院内の医療安全推進のために) | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有)・無・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">① 医薬品の採用② 医薬品管理③ 調剤/持参薬管理④ 薬剤管理指導業務⑤ 医薬品情報⑥ 地域薬剤師会との連携 | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 厚労省から「医薬品安全性情報」、総合機構から「医薬品安全対策情報」を入手するほか、日本病院機能評価機構の「医療安全情報」などの医療安全に関する情報を収集している。(2) 収集した情報のうち必要なものについて、各病棟・診療科などに注意喚起文書として印刷物で配布するとともに個人宛にメールで配信。特に重要なものは「医療安全推進室ニュース【重要】」に掲載し確認サインにより、周知を図っている。 | |

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|-------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 有・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年 18回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 初任医師、看護師に対する各機器操作と安全管理(2) 使用者に対する機器操作と安全管理(3) 機器導入時の操作法と安全管理(4) 病院職員対象機器説明会(5) 使用現場巡回安全管理指導 | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置をはじめとする機器について、日常点検、定期点検を院内各部で分担又は部外委託で実施 | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 病院ホームページから閲覧できる形の安全管理ガイドラインを作成し方針を示しているほか、リンク形式で添付文、マニュアル、研修内容、点検計画等の閲覧ができるようにしている。 また、院内メールを用いて随時安全情報を発信している。 | |